DENON
PROFESSIONAL

ソリッドステートレコーダー

DN-F450R

取扱説明書

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに「保証書」と共に大切に保管してください。
- この製品は持ち込み修理対象製品です。
  詳しくは、☞43 ページ「保証と修理について」をご覧ください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く

万一異常が発生したら、ACアダプターをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

ACアダプターは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施

ACアダプターは大切に

ACアダプターを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりするとACアダプターが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは

電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

火気禁止

火や炎を近づけない

本機の上でろうそくを灯す・タバコの灰皿を使用するなどの火や炎の発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない

機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水滴や水しぶきのかかるところに置かない

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
水がかかったり、濡れた状態で使用すると火災、感電の原因になります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら

機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない

火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

付属の AC アダプターを使用する

注意

他の機器の AC アダプターを本機に使用しないでください。
また、付属の AC アダプターは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

AC アダプターを熱器具に近付けない

禁止

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

AC アダプターを抜くときは

禁止

AC アダプターを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

すぐに AC アダプターをコンセントから抜けるように設置する

電源プラグをコンセントから抜く

電源のスイッチを切ってもコンセントからは完全に遮断されていません。
万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐにコンセントから電源プラグを抜くことができるようにしてください。

機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう

必ず実施

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする

必ず実施

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使用しない

禁止

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

次のような場所には置かない

禁止

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

壁や他の機器から少し離して設置する

必ず実施

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

禁止

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

禁止

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない

禁止

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

移動させるときは

電源プラグをコンセントから抜く

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。移動の際は、本機に衝撃を与えないでください。

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

電源プラグをコンセントから抜く

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

5 年に一度は内部の掃除を

注意

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

著作権法の注意

本機のご使用に際しては、著作権法に抵触しないように、ご注意ください。

本機は、業務用用途の目的を対象として製造されています。
本機を使用して、音楽著作物を録音使用する場合には、各著作権者の許諾を得る必要があります。
著作権者が判明しない場合には、次に示す団体までお問い合わせください。
権利者に許諾なく音楽著作物を使用し、権利者との間でトラブルが生じたとしても、弊社は責任を負いかねます。

お問い合わせ先は、日本音楽著作権協会（JASRAC）の本部、または最寄りの支部になります。

日本音楽著作権協会

本　　部	〒151-8540　東京都渋谷区上原3-6-12 TEL (03)3481-2121（大代表）
北海支部	（業務地域　北海道）
	〒060-0001　札幌市中央区北一条西3-2　井門札幌ビル TEL (011)221-5088（代表）　FAX (011)221-1311
盛岡支部	（業務地域　青森・岩手・秋田）
	〒020-0034　盛岡市盛岡駅前通15-20　ニッセイ盛岡駅前ビル TEL (019)652-3201（代表）　FAX (019)652-4010
仙台支部	（業務地域　宮城・山形・福島）
	〒980-0021　仙台市青葉区中央2-2-6　三井住友銀行仙台ビル TEL (022)264-2266（代表）　FAX (022)265-2706
大宮支部	（業務地域　埼玉・栃木・群馬・長野・新潟）
	〒330-0854　さいたま市大宮区桜木町1-7-5　ソニックシティビル TEL (048)643-5461（代表）　FAX (048)643-3567
東京支部	（業務地域　中央、千代田、港、文京、台東、墨田、江東、品川、大田、北、荒川、足立、葛飾、江戸川各区、島しょ部、茨城、千葉）
	〒104-0061　東京都中央区銀座1-3-9　実業之日本社銀座ビル TEL (03)3562-4455（代表）　FAX (03)3562-4457
西東支部	（業務地域　新宿・目黒・世田谷・渋谷・中野・杉並・豊島・板橋・練馬各区）
	〒160-0023　東京都新宿区西新宿1-17-1　日本生命新宿西口ビル TEL (03)5321-9530（代表）　FAX (03)3345-5750
東京イベント・コンサート (EC) 支部	（東京都、千葉、茨城、山梨のイベント、コンサート関係）
	〒160-0023　東京都新宿区西新宿1-17-1　日本生命新宿西口ビル TEL (03)5321-9881（代表）　FAX (03)3345-5760
立川支部	（業務地域　東京都市部、郡部（島しょ部を除く）・山梨）
	〒190-0012　立川市曙町2-37-7　コアシティ立川 TEL (042)529-1500（代表）　FAX (042)529-1515
横浜支部	（業務地域　神奈川）
	〒231-0005　横浜市中区本町1-3　綜通横浜ビル TEL (045)662-6551（代表）　FAX (045)662-6548
静岡支部	（業務地域　静岡）
	〒420-0857　静岡市葵区御幸町11-30　エクセルワード静岡ビル TEL (054)254-2621（代表）　FAX (054)254-0285
中部支部	（業務地域　愛知・岐阜・三重）
	〒450-0003　名古屋市中村区名駅南1-24-30　名古屋三井ビル本館 TEL (052)583-7590（代表）　FAX (052)583-7594
北陸支部	（業務地域　石川・富山・福井）
	〒920-0853　金沢市本町1-5-2　リファーレ TEL (076)221-3602（代表）　FAX (076)221-6109
京都支部	（業務地域　京都・滋賀・奈良）
	〒604-8153　京都市中京区烏丸通四条上ル笋町689 京都御幸ビル TEL (075)251-0134（代表）　FAX (075)251-0414
大阪支部	（業務地域　大阪・和歌山・兵庫）
	〒542-0081　大阪市中央区南船場4-3-11　豊田ビル TEL (06)6244-0351（代表）　FAX (06)6244-1970
中国支部	（業務地域　広島・岡山・山口・鳥取・島根）
	〒730-0021　広島市中区胡町4-21　朝日生命広島胡町ビル TEL (082)249-6362（代表）　FAX (082)246-4396
四国支部	（業務地域　香川・徳島・高知・愛媛）
	〒760-0019　高松市サンポート2-1　高松シンボルタワー TEL (087)821-9191（代表）　FAX (087)822-5083
九州支部	（業務地域　福岡・佐賀・長崎・熊本・大分）
	〒812-0011　福岡市博多区博多駅前2-1-1　福岡朝日ビル TEL (092)441-2285（代表）　FAX (092)441-4218
鹿児支部	（業務地域　鹿児島・宮崎）
	〒892-0842　鹿児島市東千石町1-38　アイムビル TEL (099)224-6211（代表）　FAX (099)224-6106
那覇支部	（業務地域　沖縄）
	〒900-0015　那覇市久茂地1-3-1　久茂地セントラルビル TEL (098)863-1228（代表）　FAX (098)866-5074

（2009年4月1日現在）

目次

ご使用になる前に 1

本機の特長 2
付属品について 2
取り扱い上のご注意 2
ラックマウントについてのご注意 2
携帯電話使用時のご注意 3
結露(つゆつき)について 3
お手入れについて 3

各部の名称とはたらき 3

フロントパネル 3
リアパネル 4
ディスプレイの表示について 5
表示の切り替えかた 5
停止中の表示 5
録音中、録音一時停止中の表示 6
再生中、再生一時停止中の表示 6

接続 7

準備 7
オーディオ接続に使用するケーブル 7
オーディオ接続 7
アナログ接続(アンバランス接続) 7
アナログ接続(バランス接続) 7
パソコンとの接続 7
外部コントロール端子の接続 8
リモート端子 8
RS-232C 端子 8
ヘッドホンの接続 8
電源コードの接続 8
SD カードの装着について 9
SD カード 9
SD カードを装着する際のご注意 9

初期設定のしかた 10

メニュー一覧 10
初期設定のしかた 11
メニュー操作のしかた 11
録音や再生のための設定(Presets) 11
ディスプレイ表示の設定(Display) 14
日時の設定(Time/Date) 14
ユーティリティー設定(Utility) 14
ファームウェアバージョンの確認(F/W Version) 15

録音 16

録音ファイルを格納するフォルダの選びかた 16
録音のしかた 16
録音中にできること 17
録音中にファイルを追加する
(マニュアルトラック) 17
マークを追加する(マーキング) 17
録音時間チャート 18

再生 19

再生するフォルダの選びかた 19
再生のしかた 19
再生中にできること 20
ファイルを切り替える(I◀◀, ▶▶I) 20
早送りや早戻しをする
(サーチ ◀◀, ▶▶) 20
マークを検索する 20
ファイルを分割する 20

USB モード(本機とパソコンの接続) 21

パソコンとの接続 21

ファイルやフォルダの設定 22

ファイルメニュー 22
ファイル情報 (01 Information) 22
ファイル名の変更 (02 Rename) 22
ファイルの消去 (03 Delete) 23
ファイルのコピー (04 Copy) 23
ファイルの移動 (05 Move) 23
マークの削除 (06 Delete Mark) 23
フォルダメニュー 23
フォルダの選択 (1 Select) 24
フォルダの作成 (2 Make Folder) 24
フォルダ名の変更 (3 Rename) 24
フォルダの消去 (4 Delete) 24
操作ボタンをロックする (キーロック) 25
その他の機能 25

コントロール機能 26

REMOTE 端子 1 26
ワイヤードリモートスイッチでの操作 26
カスケード接続での録音 26
REMOTE 端子 2 27
リモート機能の拡張 27
RS232C コントロール 28
RS232C の制御について 28

情報 40

エラーメッセージ 40
故障かな？と思ったら 41
主な仕様 42

保証と修理について 43

索引 43

ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

本機の特長

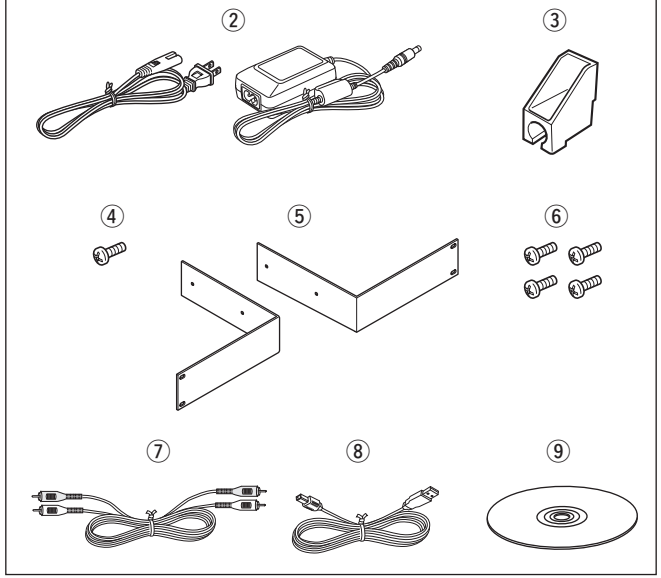
- ステレオ（2チャンネル）またはモノラル（1チャンネル）の録音と再生
- 各種 SD カードへの録音
- 2 種類の録音形式
  - MP3（MPEG1 レイヤーIII）音声圧縮方式の録音。
  - 16 ビットのリニア PCM 方式（非圧縮音声）の録音。
- アナログ入力にレベル切替式バランス XLR コネクターを装備
- パソコンとの互換性（MS-DOS™、Windows、Macintosh 互換オーディオファイル）
- 音がないときは録音を停止し、音を検出すると録音を再開する自動録音（サイレントスキップ）
- 手動および自動での録音レベルコントロール（ALC）
- ファイルを加工することなく、特定の検索ポイントを作ることができるマーク機能
- 2 系統のワイヤードリモート、RS232C 接続でのリモートコントロール操作に対応
- 録音したファイル、マークの編集のための Windows アプリケーション DMP Mark Editor を付属
- 本機を 2 台使用し、録音中に記録残量がなくなると自動的にもう一方へ録音を継続させるカスケード接続録音

SDHC ロゴは商標です。

付属品について

ご使用の前にご確認ください。

- ① 取扱説明書（本書）……1
- ② ACアダプター……1
- ③ ACアダプターコードホルダー……1
- ④ ACアダプターコードホルダー取り付け用ネジ……1
- ⑤ 19インチラックマウントブラケット……2
- ⑥ 19インチラックマウントブラケット取り付け用ネジ……4
- ⑦ オーディオケーブル……1
- ⑧ USBケーブル……1
- ⑨ CD-ROM……1
  - DN-F450R 取扱説明書
  - DMP Mark Editor インストーラー
  - DMP Mark Editor 取扱説明書
- ⑩ 保証書（梱包箱に貼り付けられています。）……1



ご注意

伝導ノイズや妨害ノイズによって本機が誤動作する場合がありますので、パソコンと本機を接続するときは、付属の USB ケーブルをお使いください。

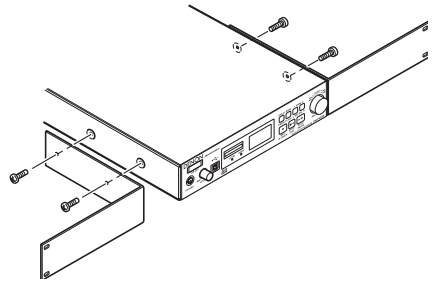
取り扱い上のご注意

ラックマウントについてのご注意

❑19 インチ 1U ハーフサイズラックマウントブラケットの取り付け

- DN-F450R は 1U ハーフサイズです。付属のラックマウントブラケットを DN-F450R に取り付けて、EIA 規格の 19 インチラックに取り付けることができます。

1. DN-F450R 側面に止めているネジ 2 本を外します。
2. ラックマウントブラケットと DN-F450R を付属のビス 2 本で取り付けます。取り付けた反対側も同様に取り付けてください。



❑ラックへの取り付け

- 本体の上部をカバーなどで覆わないようにしてください。熱は DN-F450R の上部表面から放熱します。
- 設置環境にご注意ください。たとえば、他の装置からの熱が DN-F450R に加わらないように設置します。
- 必要であれば強制空冷を行ってください。DN-F450R の周辺環境は、42 ページの「主な仕様」に記載した条件を満たしている必要があります。
- DN-F450R をアンプやチューナまたは他の機器の近くに設置する場合、ノイズ（ハムノイズ）またはビート干渉が生じることがあります（特に AM または FM 受信中）。
- 干渉が発生する場合は、DN-F450R を他の機器から離してください。

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話を使用すると、雑音(ノイズ)が入ることがあります。携帯電話は本機から離れた位置でお使いください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1 ～ 2 時間放置してから使用してください。

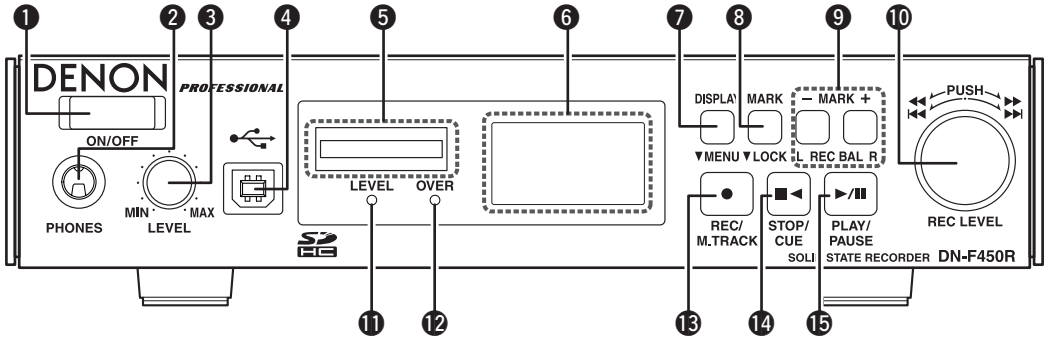
お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、やわらかい布を使用して軽く拭き取ってください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

各部の名称とはたらき

フロントパネル

各部のはたらきなど詳しい説明については、( )内のページをご覧ください。



❶ **電源スイッチ(ON/OFF)**……(11)

❷ **ヘッドホン端子(PHONES)**……(8)

❸ **ヘッドホン音量調整つまみ(LEVEL)**……(8)
つまみを押すとつまみがとび出します。調節が終わったら、つまみを押し込んでください。

ご注意

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないように注意してください。

❹ **PC用USBポート**……(8)

❺ **SDスロット**……(9)

❻ **ディスプレイ**……(5)

❼ **ディスプレイ、メニューボタン (DISPLAY, MENU/STORE)**……(5、11)

❽ **マーク、ロックボタン(MARK, LOCK)**……(17、25)

❾ **マークサーチ、録音バランスボタン (MARK –/+, REC BAL L/R)**……(16、20)

❿ **ジョグダイヤル(I◀◀, ▶▶I/◀◀, ▶▶ PUSH)**……(11、20)

⓫ **レベル表示(LEVEL)**……(12)
録音レベルや再生レベルが設定メニューの“Level LED”で設定しているレベルを超えたとき、緑色に点灯します。

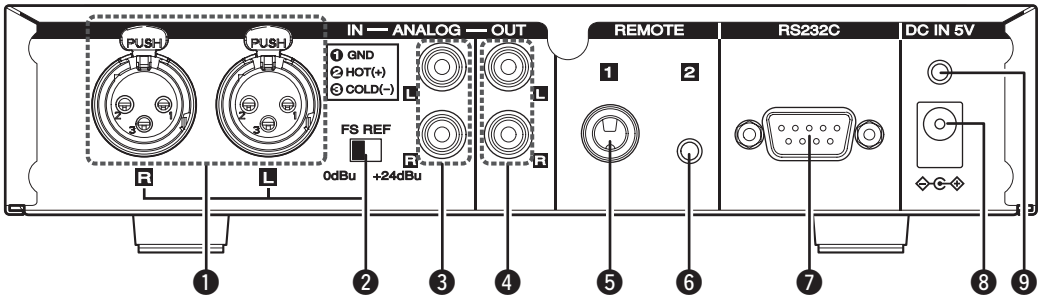
⓬ **レベルオーバー表示(OVER)**……(16)
録音中や録音一時停止中に録音レベルが -1dB を超えると赤色に点灯します。

⓭ **録音、マニュアルトラックボタン (REC/M.TRACK)**……(16、17)
- 録音中は赤色に点灯します。
- 録音一時停止中は赤色に点滅します。

⓮ **停止ボタン(STOP/CUE)**……(17)

⓯ **再生、一時停止ボタン (PLAY/PAUSE)**……(19)
- 再生中は緑色に点灯します。
- 再生一時停止中は緑色に点滅します。

リアパネル



❶**アナログ入力(バランス)端子** ……(7)
- XLR タイプ
- ピン配置：1 GND、2 Hot、3 Cold
- 適用コネクタ：XLR-3-12C または同等品

❷**FS切り替えスイッチ**……(11)
※ FS(フルスケール)は、最大入力レベルを意味します。

❸**アナログ入力(アンバランス)端子**……(7)
- RCA タイプ

❹**アナログ出力(アンバランス)端子**……(7)
- RCA タイプ

❺**REMOTE端子 1** ……(8)
モノラル Phone ジャック付きのワイヤードリモートスイッチを接続します。

❻**REMOTE端子 2**……(8)
別売りのワイヤードリモート装置 RC600PMD または外部リモートコントローラーを接続します。

❼**RS-232C端子** ……(8)

❽**ACアダプター入力端子**……(8)
付属の AC アダプターを接続します。

❾**ACアダプターコードホルダーの取り付け穴** ……(8)
接続したコードが端子から抜けるのを防止するためのホルダー取り付け穴です。

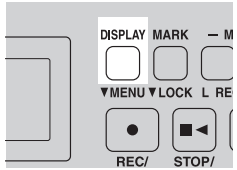
ディスプレイの表示について

本機のディスプレイには、本機や SD カードに関するさまざまな情報を表示します。表示する内容は本機の動作状態(停止／録音／再生)によって異なります。

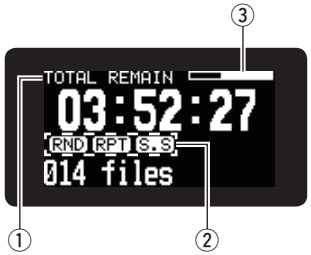
表示の切り替えかた

DISPLAY を押す。

- 押すたびに表示の内容を切り替えます。
- 各動作中の表示内容については、「停止中の表示」(☞5 ページ)、「録音中、録音一時停止中の表示」(☞6 ページ)、「再生中、再生一時停止中の表示」(☞6 ページ) をご覧ください。



❑各動作中の共通な表示について



① 表示画面のタイトル表示

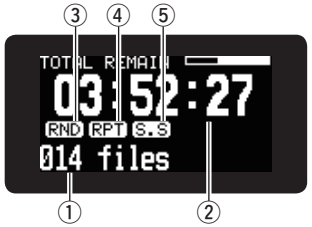
② 設定中のモード表示

- **RND** ：ランダム再生モード(☞12 ページ)
- **RPT** ：リピート再生モード(☞12 ページ)
- **S.S** ：サイレントスキップモード(☞12 ページ)

③ SDカードの残り容量を表示します。

停止中の表示

❑ 総残量表示



① 現在のフォルダ内の総ファイル数

② 総録音残り時間表示

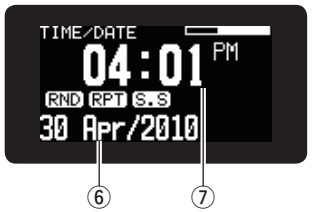
③ プリセット“Play Mode”のRandom設定時の表示
※ Cont、Single に設定されている場合は表示しません。

④ プリセット“Repeat”のオン/オフ表示
※オフの場合は表示しません。

⑤ プリセット“Silent Skip”のオン/オフ表示
※オフの場合は表示しません。

残り時間が 100 時間を超えるときは“99 : 59 : 59”を表示します。

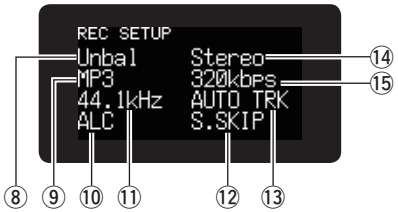
❑ 現在の時刻 / 日付表示



⑥ 現在の日付

⑦ 現在の時刻

❑ 録音設定情報表示



⑧ 録音入力ソース

⑨ 録音ファイル形式

⑩ プリセット“Level Cont”の“ALC”表示
※“Manual”の場合は表示しません。

⑪ サンプリング周波数

⑫ プリセット“Silent Skip”のオン/オフ表示
※オフの場合は表示しません。

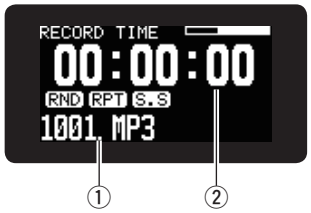
⑬ プリセット“Auto Track”のオン/オフ表示
※オフの場合は表示しません。

⑭ 録音チャンネル

⑮ MP3ビットレート
※録音ファイル形式が PCM のときは表示しません。

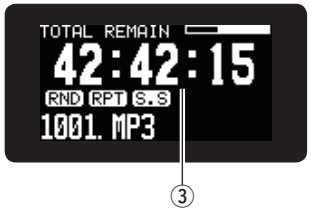
録音中、録音一時停止中の表示

❑ 録音経過時間表示



① 録音中のファイル名
② 録音経過時間

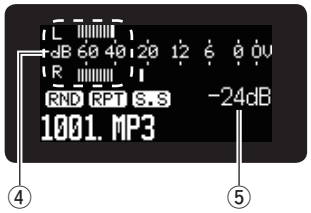
❑ 総録音残り時間



③ 総録音残り時間
※選択しているプリセットメニューの録音フォーマットによって時間が変わります。

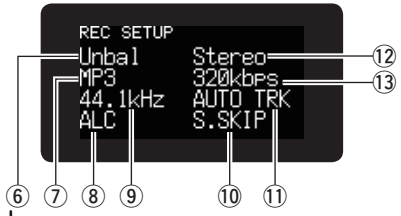
残り時間が 100 時間を超えるときは
“99 : 59 : 59”を表示します。

❑ 録音入力レベル



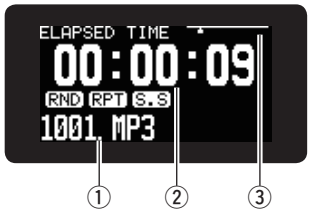
④ 録音入力レベル
⑤ レベルメーターのピークホールド値(L/Rの大きい方を表示)
⑥ 録音入力ソース
⑦ 録音ファイル形式
⑧ プリセット“Level Cont”の“ALC”表示
※“Manual”の場合は表示しません。
⑨ サンプリング周波数
⑩ プリセット“Silent Skip”のオン/オフ表示
※オフの場合は表示しません。
⑪ リセット“Auto Track”のオン/オフ表示
※オフの場合は表示しません
⑫ 録音チャンネル
⑬ MP3ビットレート
※録音ファイル形式が PCM のときは表示しません。

❑ 録音設定情報表示



再生中、再生一時停止中の表示

❑ 再生経過時間表示



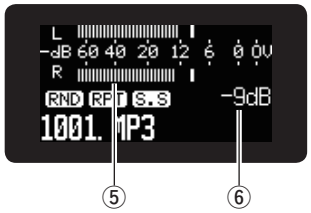
① 再生中のファイル名
② 再生経過時間
③ 再生中のファイル位置
※ VBR で記録されたファイルのときは、位置表示をしません。

❑ 再生残り時間表示

④ 再生残り時間
※再生ファイルが VBR のときは“VBR” を表示します。

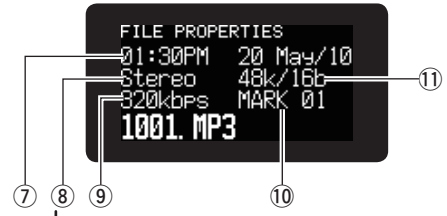
残り時間が 100 時間を超えるときは
“99 : 59 : 59”を表示します。

❑ 再生出力レベル表示



⑤ 再生出力レベル
⑥ レベルメーターのピークホールド値(L/Rの大きい方を表示)

❑ ファイル情報表示



⑦ ファイル作成日時
⑧ 再生チャンネル
⑨ MP3ビットレート
※ファイル形式が PCM のときは表示しません。
⑩ マーク総数
⑪ サンプリング周波数/量子化ビット数

接続

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 接続ケーブルのプラグは確実に接続端子に接続してください。不完全な接続は、雑音の原因となります。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくＬとL、ＲとＲを接続してください。
- 入力と出力は正しく接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。
- 本機はマイクの接続に対応していません。

準備

オーディオ接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

音声ケーブル

アナログ接続(RCA)

ステレオ音声ケーブル(付属)

アナログ接続 (XLR)

バランスケーブル(別売)

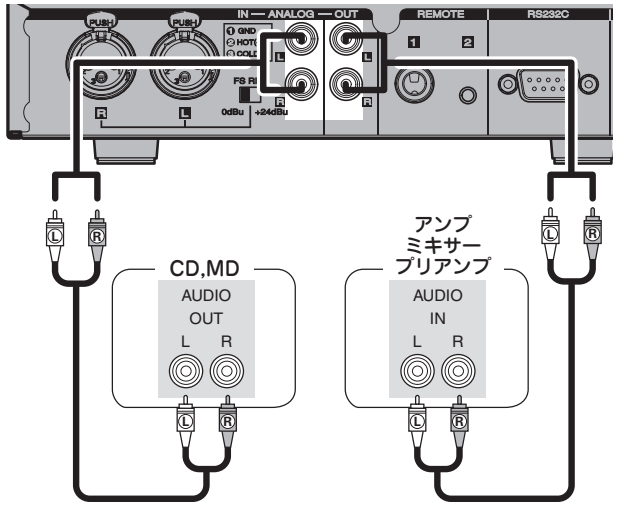
パソコンとの接続用ケーブル

USB ケーブル(付属)

オーディオ接続

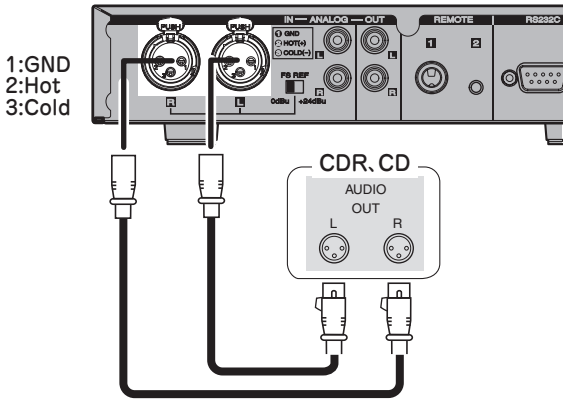
アナログ接続(アンバランス接続)

アナログ入出力(アンバランス)端子にラインレベルのアナログ入力または出力を接続してください。



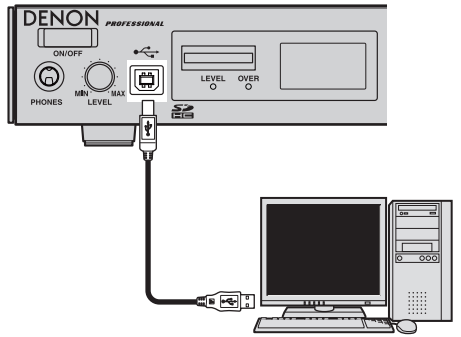
アナログ接続(バランス接続)

アナログ入力(バランス)端子にラインレベルのアナログ出力を接続してください。



パソコンとの接続

本機の USB ポートとパソコンを USB ケーブルで接続します。



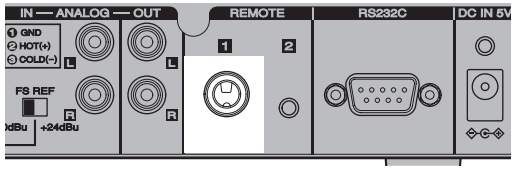
USB 接続をすると USB モードになり、本機の SD カードからパソコンのハードディスクドライブにオーディオファイルを簡単にコピーできます。
USB 接続が有効になるのは、本機が停止状態(録音・再生中およびメニュー表示中は無効)のときのみです。
USB モードについては、「USB モード(本機とパソコンの接続)」(☞21 ページ)をご覧ください。

外部コントロール端子の接続

リモート端子

❑REMOTE1

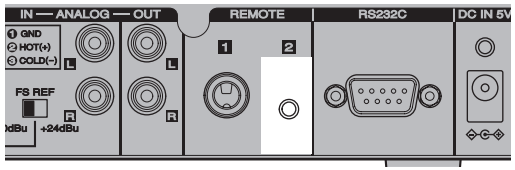
- モノラル Phone ジャック付きのワイヤードリモートスイッチを本機の REMOTE 端子 1 に接続します。
- 本機を 2 台使用する場合は、モノラル Phone ジャック付きのケーブルで REMOTE 端子 1 同士を接続します。



ワイヤードリモートスイッチを使って、5 つのリモートオプション(「REMOTE 端子 1」(☞26 ページ)を利用できます。また、本機を 2 台接続することによりカスケード録音をおこなうことができます。詳細は 26 ページをご覧ください。

❑REMOTE2

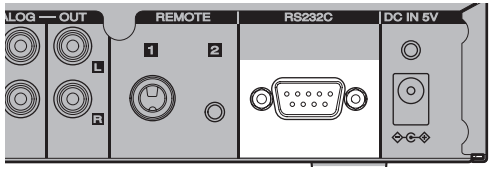
別売りのワイヤードリモート装置 RC600PMD または外部リモートコントローラーを REMOTE 端子 2 に接続します。



REMOTE 端子 2 からの操作は 27 ページをご覧ください。

RS-232C 端子

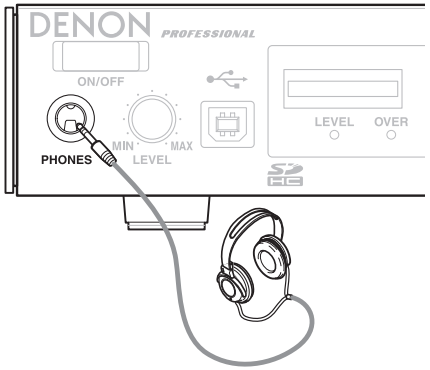
RS-232C シリアル端子に D-sub9 ピンの RS232C ストレートケーブルを接続します。



RS232C コントロールにより、ホスト機器による外部からの制御をおこなうことができます。
RS232C コントロールについては、「RS232C コントロール」(☞28 ページ) をご覧ください。

ヘッドホンの接続

ヘッドホンジャック(PHONES)にヘッドホンを接続してください。



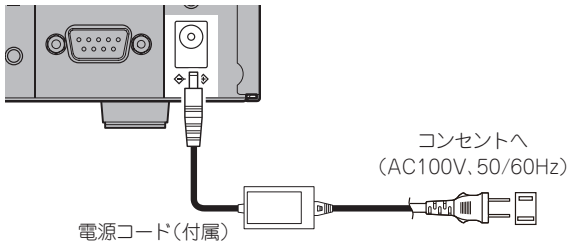
ヘッドホン音量調整つまみ(LEVEL)を押すとつまみがとび出します。音量の調節が終わったら、つまみを押し込んでください。

ご注意

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないように注意してください。

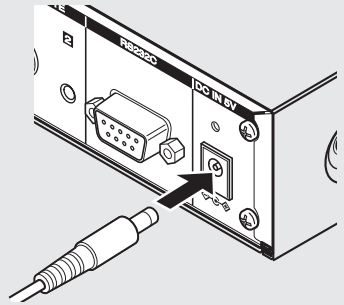
AC アダプターの接続

すべての接続が終わってから、AC アダプターを接続してください。

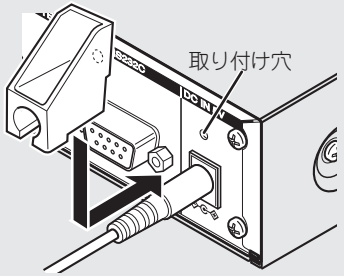


❑電源コードホルダーの取り付け

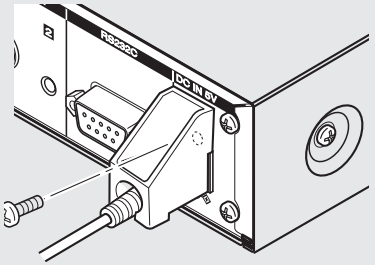
1 **AC アダプターの端子を DC 電源入力端子に接続する。**



2 **電源コードホルダーの穴を AC アダプターのコードに通す。そのあと、取り付け穴にホルダーを差し込む。**



3 **付属のネジでホルダーを DN-F450R に固定する。**



ご注意

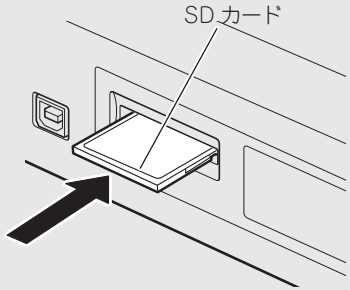
- 電源プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な差し込みは、誤動作や雑音の原因になります。
- 本機が動作しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 付属の電源コード以外のコードを使用しないでください。

SD カードの装着について

SD カード

❑SD カードの差し込みかた

SD カードスロットに SD カードを奥まで差し込む。



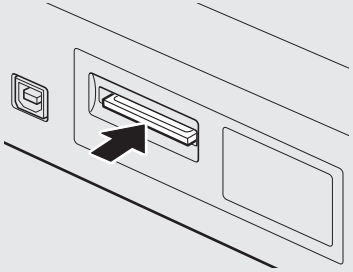
SD カードはカチッと音がするまで奥に差し込んでください。

❑SD カードの取り出しかた

あらかじめ、SD カードの再生や録音が停止していることを確認してください。

SD カードを押す。

SD カードが手前に出ます。カードを引き抜いてください。



ご注意

録音中に SD カードを取り外すと録音したファイルが正しく書き込まれない場合があります。
録音中は SD カードを取り外さないでください。

SD カードを装着する際のご注意

- **ひび割れや変形、または接着剤などで補修した SD カードは使用しないでください。**
- 装着時および読み込み中は画面に“Loading...”を表示します。この表示のときは SD カードを抜かないでください。

初期設定のしかた

メニュー一覧

メニュー操作のしかたは、「メニュー操作のしかた」（☞11 ページ）をご覧ください。また、各項目の詳しい説明は表の「参照ページ」をご覧ください。

設定項目	詳細項目			内容	参照ページ	各プリセットの初期値		
						Preset-1	Preset-2	Preset-3
01 File List				ファイルやフォルダの管理および設定をします。	22	—	—	—
02 Presets	Preset-1 /Preset-2 /Preset-3	01 Select		選択したプリセット番号に切り替えます。	11	—	—	—
		02 Edit	Input	録音するオーディオ入力ソースを設定します。	11	Bal	Bal	Bal
			Rec Format	録音する音声方式（MP3 または PCM）を設定します。	11	MP3-128	MP3-320	PCM-16
			RecChan (Record Channel)	録音チャンネル数を設定します。	11	Stereo	Stereo	Stereo
			Samp Freq (Sampling Frequency)	録音するサンプリング周波数を設定します。	11	44.1k	44.1k	48k
			LevelCont	録音レベルの調整方法を設定します。	12	ALC	Manual	Manual
			Level LED	本体の Level 表示が点灯する入出力レベルを設定します。	12	-6dB	-6dB	-6dB
			Auto Track	一つのファイルの録音時間を設定します。	12	Off	Off	Off
			Auto Mark	無音検出によるマークの書き込みの設定をします。	12	Off	Off	Off
			SilentSkp (Silent Skip)	無音検出による録音一時停止や録音再開の設定をします。	12	Off	Off	Off
			SilentLvl (Silent Level)	10 Auto Mark、11 Silent Skip の無音レベルを設定します。	12	-38dB	-38dB	-38dB
			Skip Back	再生中または一時停止中にスキップバックをする時間を設定します。	12	2sec	2sec	2sec
			Play Mode	再生モードを設定します。	12	Cont	Cont	Cont
			FinishMod (Finish Mode)	再生停止時の停止状態を設定します。	12	Next	Next	Next
			Repeat	リピート再生の設定をします。	12	Off	Off	Off
			PowOnPlay (Power On Play)	電源を入れたときの動作を設定します。	12	Off	Off	Off
			Auto Cue	オートキュー機能の設定をします。	13	Off	Off	Off
			Remote1	リモート端子 1 に接続している機器からの制御信号を受けておこなう動作を設定します。	13	StartPaus	StartPaus	StartPaus
			Machine ID	ファイル名に含まれるマシン ID 情報を設定します。	13	1	1	1
			Default	各プリセット番号ごとに、プリセットの設定内容を初期化します。	13	—	—	—
		03 Rename		プリセットの名前をお好みの名前に変更します。	13	Preset-1	Preset-2	Preset-3
03 Display	Contrast			ディスプレイのコントラストを設定します。	14	5		
	Time Form			現在時刻表示のタイプを設定します。	14	12H		
	Date Form			日付の表示順を設定します。	14	M/D/Y		
	File Sort			ファイルの並び順のソート方法を設定します。	14	Date		
	Language			ファイル名およびフォルダ名の表示言語を選択します。	14	Eng ※		
	Default			“03 Display”のすべての設定内容を初期化します。	14			
04 Time/Date				現在の日時を設定します。	14			
05 Utility	01 Load Settings			SD カードに保存しているプリセットメニューとディスプレイメニューの設定データを読み込み、本機の設定をその SD カードの設定データに変更します。	14			
	02 Save Settings			本機のすべてのプリセットメニューとディスプレイメニューの設定データを SD カードに保存します。	14			
	03 Media Format			SD カードをフォーマットします。	14			
06 F/W Version				本機の現在のファームウェアのバージョンを表示します。	15			

※日本で販売する製品は、工場出荷時は JPN に設定されています。

プリセットの初期値は、それぞれ次の用途を想定しています。

- Preset-1：会議などの録音用
- Preset-2：音楽用の圧縮録音
- Preset-3：非圧縮録音

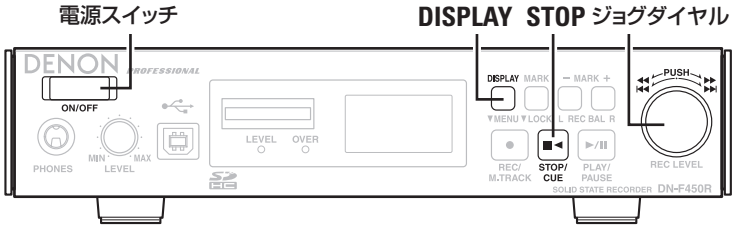
ご注意

各メニューの Default をおこない、プリセットの設定内容を初期化した場合は、表中右の各プリセットの初期値の値になります。

初期設定のしかた

本機は、本機に入力している音声を、SD カードに録音することができます。本機の録音や再生に関する各種の設定をお使いいただくことで、幅広いアプリケーションに対応することができます。
また、本機には各種の設定を３通りまでプリセット登録できますので、あらかじめ目的に応じた録音や再生の設定パターンをプリセットしてください。プリセット番号を切り替えるだけでそれぞれの目的に応じた設定に切り替えることができます。

メニュー操作のしかた



1 **電源スイッチを押す。**
本機の電源がオンになります。

2 **停止中に DISPLAY を 1 秒以上長押しする。**
メニュー一覧を表示します。
- 各メニューに含まれる設定項目は、「メニュー一覧」（☞10 ページ）をご覧ください。

3 **ジョグダイヤルを回して設定を変更する項目を選び、ジョグダイヤルを押す。**
次の階層のメニュー一覧を表示します。
- “01 File List”を選ぶと、ファイル一覧が表示されます。
  ファイルやフォルダの管理および設定の方法は「ファイルやフォルダの設定」（☞22 ページ）をご覧ください。

4 **設定を変更したい項目を選び、ジョグダイヤルを押す。**
設定項目が確定します。
- 続けて他の項目を設定する場合は、手順 3 の操作をおこなってください。
- 現在設定中のメニュー階層から上のメニューに戻るときはジョグダイヤルを長押ししてください。

5 **すべての設定が終わったら DISPLAY を押す。**
設定の変更を保存して、停止状態に戻ります。

設定を中止するには、保存する前に **STOP** を押してください。

ファイルやフォルダの管理および設定（File List） ☞22 ページ
録音や再生のための設定（Presets） ☞11 ページ
ディスプレイ表示の設定（Display） ☞14 ページ
日時の設定（Time/Date） ☞14 ページ
ユーティリティー設定（Utility） ☞15 ページ
ファームウェアバージョンの確認（F/W Version） ☞15 ページ

録音や再生のための設定（Presets）

この設定は、３つのプリセット（Preset-1 / Preset-2 / Preset-3）に別々におこないます。
はじめに、メニューの“02 Presets”から設定するプリセット番号を選びます。
次に、“02 Edit”を選んでください。

設定項目	設定内容
Input 録音するオーディオ入力ソースを選びます。	**Bal**：XLR アナログ入力端子のソースを録音します。 **Unbal**：RCA アナログ入力端子のソースを録音します。 “Bal”に設定して録音する場合、リアパネルの FS 切り替えスイッチを入力が最大になるレベル（+24dBu または 0dBu）に切り替えてから録音してください。
Rec Format 録音する音声方式（MP3 または PCM）を選びます。	**MP3-320 / MP3-256 / MP3-192 / MP3-128 / MP3-64 / PCM-16** • 各ビットレートの値はステレオファイルとして録音した場合を示します。 • MP3 方式では、ビットレートを選びます。 • PCM 方式では、量子化ビット数を選びます。
RecChan (Record Channel) ステレオファイルとして録音をするか、モノラルファイルとして録音をするかを選びます。	**Stereo**：ステレオ（２チャンネル）ファイルとして録音します。 **Mono**：モノラル（１チャンネル）ファイルとして録音します。
Samp Freq (Sampling Frequency) 録音するサンプリング周波数を選びます。	**44.1k**：44.1kHz で録音します。 **48k**：48kHz で録音します。

設定項目	設定内容
LevelCont 録音レベルの調整方法を選びます。	**Manual**：録音レベルをお好みの値に調節できます。 **ALC**：本機が録音レベルを自動的に調節します。 ALC 設定をオンにすると、入力信号が無い場合、録音入力レベルのメーター最小値がまれに点灯することがありますが、録音には支障はありません。
Level LED 本体の Level 表示が点灯する入出力レベルを設定します。	**-6dB / -12dB / -20dB / -38dB / -54dB** ディスプレイのレベルメーターとは別に、録音ピークレベルの確認や、入力信号の有無の確認など、いろいろな目的にお使いいただけます。
Auto Track 設定した時間ごとに新しいファイルをつくり、録音を続けます。	**Off**：ファイルを更新せずに録音をします。 **1min / 5min / 10min / 15min / 30min / 1hour / 2hour / 6hour / 8hour / 12hour / 24hour** ご注意 • 録音しているファイルの容量が 4GB に達すると、設定している時間にかかわらず、新しいファイルに切り替えて録音を続けます。 • 録音したファイルの容量などによってはファイルの切り替わり目にわずかな音切れが生じることがあります。
Auto Mark “10 Silent Level” で設定している入力レベル未満の入力が3秒以上続くと、ファイルにマーキング情報を書き込みます。このマークは再生中に特定の場所を検索するときに便利です。	**Off**：オートマーク機能をオフにします。 **On**：オートマーク機能をオンにします。 • 一つのファイルに最大 30 個のマークを書き込むことができます。 • マーキング番号は1番から順番に付与します。 • マークは手動でも付けることができます。「マークを追加する（マーキング）」（☞17 ページ）をご覧ください。 • 付属ソフト “DMP Mark Editor” でマークの編集をおこなえます。詳しくは付属の CD-ROM の取扱説明書をご覧ください。
SilentSkp **(Silent Skip)** “10 Silent Level” で設定している入力レベル未満の入力が3秒以上続くと、録音を一時停止します。再び設定値以上のレベルを入力すると、録音を再開します。	**Off**：サイレントスキップ機能をオフにします。 **On**：サイレントスキップ機能をオンにします。ディスプレイに **S.S** のアイコンが表示されます。 サイレントスキップ機能により録音が一時停止状態になっている場合はディスプレイの **S.S**（☞5 ページ）表示が点滅します。

設定項目	設定内容
SilentLvl **(Silent Level)** “08 Auto Mark” または “09 Silent Skip” をオンに設定しているときの無音判定レベルを設定します。	**-60dB / -54dB / -38dB / -20dB**
Skip Back スキップバックする時間を設定します。	**0.5sec ～ 10sec**：0.5 秒間隔で設定します。 **10sec ～ 60sec**：5 秒間隔で設定します。 スキップバックは、再生時または再生一時停止時に設定した時間だけ戻って一時停止する機能です。この機能は Remote2 の機能拡張スイッチで、リモートコントロールをおこなうときに有効です。リモートコントロールの詳細は「REMOTE 端子 2 の機能拡張」（☞27 ページ）をご覧ください。
Play Mode 再生モードを選びます。	**Cont (Continuous)**：ファイルを順番どおりに連続再生します。最後のファイルの再生が終わると停止します。 **Single**：ファイルの再生が終わると、“Finish Mode” で設定している停止位置で停止します。 **Random**：ファイルを順不同で再生します。すべてのファイルの再生が終わると停止します。Random に設定されている場合はディスプレイに **RND** のアイコンが表示されます。
FinishMod **(Finish Mode)** 再生停止時の停止状態を設定します。	**Next**：ファイル再生時に **STOP** ボタンを押すと、次のファイルの先頭で停止します。 **Recue**：ファイル再生時に **STOP** ボタンを押すと、最後に再生開始したところで停止します。
Repeat ファイルのリピート再生の設定をします。	**Off**：リピート再生をおこないません。 **On**：リピート再生をおこないます。ディスプレイに **RPT** のアイコンが表示されます。 “Play Mode” で設定している再生モードによって次の動作になります。 • “Cont” のときは、すべてのファイルをリピート再生します。 • “Single” のときは、再生しているファイルのみをリピート再生します。 • “Random” のときは、すべてのファイルの再生が終わると、次に違った再生順でランダム再生をします。その動作をくり返します。
PowOnPlay **(Power On Play)** SD カードを装着している状態で電源を入れたときの動作の設定をします。	**Off**：電源をオンにすると停止状態になります。 **On**：電源をオンにすると自動的にファイルの再生を始めます。

設定項目	設定内容
Auto Cue オートキュー機能の設定をします。また、ファイルの先頭の無音部分の無音レベルを設定します。	**Off**：オートキュー機能をオフにします。 **-48dB / -42dB / -36dB** オートキュー機能とは、ファイルの先頭の無音部分をスキップして再生が始まるポイントで一時停止をする機能です。 **ご注意** ファイルの先頭の無音部を 20 秒以上経過しても検出できないときは、ファイルの先頭でオートキュー動作をおこないます。
Remote1 本機のリモート端子 1 に接続している外部機器のスイッチの制御信号を受けたときの本機の動作を設定します。 リモート端子 1 については、「REMOTE 端子 1」(☞26 ページ) をご覧ください	**StartPaus**：録音中または再生中に、外部機器のスイッチが閉じる(ショート)と、録音または再生を始め、開く(オープン)と録音または再生を一時停止します。 **StrtPseTr**：録音中に、外部機器のスイッチが閉じる(ショート)と録音を開始し、開く(オープン)と録音を一時停止します。また、録音一時停止中に再度スイッチを閉じる(ショート)と新しいファイルにファイルを更新して録音を再開します。 **Mark**：録音中または再生中に、外部機器のスイッチが閉じる(ショート)と、マークを追加します。 **ManualTrk**：録音中に外部機器のスイッチが閉じる(ショート)と、新しいファイルにファイルを更新して録音を続けます。 **Cascade**：この機能の動作をおこなうときは、本機にもう一台の DN-F450R を接続してください(「カスケード接続での録音」(☞26 ページ))。 本機の録音中に本機の録音容量がなくなると、自動的にもう一台の DN-F450R で録音をはじめます。
Machine ID ファイル名に含まれるマシン ID の名前を設定します。 文字は最大 8 文字まで入力できます。	**Preset-1 / Preset-2 / Preset-3** • 初期設定でのマシン ID は「1」ですので最初に録音したファイルは 1001.MP3 になります(MP3 方式で録音した場合)。 • マシン ID を“aaaaa”にした場合、最初に録音したファイルのファイル名は“aaaaa001.MP3”になります。マシン ID が 0 文字の場合は 001.MP3 となります(MP3 方式で録音した場合)。 **ご注意** マシン ID は各プリセットで共通です。変更した場合は全てのプリセット番号に反映されます。
Default **(Preset Default)** プリセットの設定をプリセットごとに初期化します。	**Preset-1 / Preset-2 / Preset-3** **Yes**：選んだプリセット名とプリセット内容を初期化します。 **No**：初期化しません。

❑プリセット名の変更のしかた

はじめに、メニューの“02 Presets”から名前を変更するプリセット番号を選びます。
次に、“03 Rename”を選んでください。

設定項目	設定内容
03 Rename プリセットの名前を用途に応じて変更することができます。文字は最大 8 文字まで入力できます。	**❑ 文字の入力のしかた** ①**MARK+**、**MARK–**ボタンで文字を挿入する位置にカーソルを合わせる。 ②ジョグダイヤルを回して入力する文字を選ぶ。 ③ジョグダイヤルを押して文字を確定する。 ④手順①から③をくり返して、すべての文字を入力する。 ⑤入力が終わったらジョグダイヤルを押す。 • 入力した文字を保存します。 **❑ 文字の消去のしかた** ①**MARK+**、**MARK–**ボタンで消去する文字の右側にカーソルを合わせる。 ② **PLAY/PAUSE** ボタンを押す。 • カーソルの左側の文字を消去します。 • 工場出荷時は、プリセット名に 8 文字の名前が付いています。プリセット名を変更するときは、文字を削除してから文字を入力してください。 • 次の文字や記号を入力できます。 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z (スペース) ! # $ % & ' ( ) + , - ; = @ [ ] ^ _ ` { } ~ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ¡ ¢ £ ¤ ¥ ¦ § ¨ © ª « ¬ ® ¯ ° ± ² ³ ´ µ ¶ · ¸ ¹ º » ¼ ½ ¾ ¿ À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï Ð Ñ Ò Ó Ô Õ Ö × Ø Ù Ú Û Ü Ý Þ ß à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï ð ÷ ø ù ú û ü ý þ ÿ 上記下線部 ¡～ÿ の文字はラテン文字です。ラテン文字はディスプレイ表示の設定が“Eng”に設定されている場合は使用できますが、“Jpn”に設定されている場合は使用できません。ディスプレイ表示の設定に関しては、「Language」(☞14 ページ) ご覧ください。 • 保存をせずに入力を中止する場合は、保存の前に **MARK** ボタンを押してください。

ディスプレイ表示の設定(Display)

本機のディスプレイ表示に関する設定をおこないます。
ジョグダイヤルを回して“03 Display”を選んでください。

設定項目	設定内容
Contrast ディスプレイのコントラストを設定します。	**1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10** 設定値が大きくなるほど明るく表示します。
Time Form 現在時刻表示のタイプを設定します。	**12H**：12 時間表示(AM / PM)をします。 **24H**：24 時間表示をします。
Date Form 日付の表示順を設定します。	**M/D/Y**：月 / 日 / 年 の順に表示します。 **D/M/Y**：日 / 月 / 年 の順に表示します。
File Sort ファイルの並び順のソート方法を選びます。	**Alpha (Alphabet)**：ファイルが記号→数字→アルファベット順に並びます。 **Date**：ファイルが日付順に並びます。
Language ファイル名およびフォルダ名の表示言語を選択します。	**Eng**：ファイル名およびフォルダ名を英語で表示します。 **Jpn**：ファイル名およびフォルダ名を日本語で表示します。 設定を変更した場合、本機は設定を読み込むため、一度再起動します。 設定を Eng にすると、日本語のファイル名、フォルダ名は正しく表示されません。日本で販売する製品は、工場出荷時は Jpn に設定されています。
Default ディスプレイ表示メニューの設定を初期化します。	**Yes**：初期化します。 **No**：初期化しません。

日時の設定(Time/Date)

本機の時計の設定をします。
ジョグダイヤルを回して“04 Time/Date”を選んでください。

設定項目	設定内容
04 Time/Date 本機の内蔵時計の時間を設定します。この時間を、録音したファイルに時間データ(録音開始時間)として記録します。	**01:00 AM**：時間を入力します。 **Jan 01 / 2010**：年月日を入力します。 ❑ **数字の入力のしかた** ① **MARK+**、**MARK-** ボタンで入力する位置にカーソルを合わせる。 ②ジョグダイヤルを回して入力する数字を選ぶ。 ③手順①と②をくり返して、すべての項目に入力する。 ④すべての入力が終わったらジョグダイヤルを押す。 • 設定を保存して、メニュー画面に戻ります。 保存をせずに設定を中止する場合は、保存の前に **MARK** ボタンを押してください。

ユーティリティー機能(Utility)

本機の各種設定データの保存や読み込み、または SD カードのフォーマットをおこないます。
ジョグダイヤルを回して“05 Utility”を選んでください。

設定項目	設定内容
01 Load Settings SD カードに保存しているプリセット設定データを読み込み、本機の設定をその SD カードの設定データに変更します。この機能は複数の DN-F450R をお使いになる場合に、すべての DN-F450R を同じプリセット内容に設定するときに便利です。	❑ **操作のしかた** ①ジョグダイヤルを回して“Load Settings” を選び、ジョグダイヤルを押す。 • “Load?”を表示します。 ②ジョグダイヤルを回して“Yes”を選び、ジョグダイヤルを押す。 • プリセット設定データの読み込みを始めます。 • 読み込み中は“Executing･･･”を表示します。 • 読み込みが終了すると“Completed”を表示し、停止状態に戻ります。 SD カード内のルートディレクトリにある“DN-F450Rpreset.txt” を読み込みます。
02 Save Settings 現在のすべてのプリセット設定データを SD カードに保存します。保存したデータを他の DN-F450R に読み込ませるときは“01 Load Settings”の操作をおこなってください。	❑ **操作のしかた** ①ジョグダイヤルを回して“Save Settings” を選び、ジョグダイヤルを押す。 • “Save?”を表示します。 ②ジョグダイヤルを回して“Yes”を選び、ジョグダイヤルを押す。 • プリセット設定データの保存を始めます。 • 保存が終了すると“Completed”を表示し、停止状態に戻ります。 SD カード内のルートディレクトリに“DN-F450Rpreset.txt” のファイル名で保存します。この操作をおこなうと“DN-F450Rpreset.txt” のデータを上書きします。
03 Media Format SD カードのフォーマットをおこないます。	❑ **操作のしかた** ①ジョグダイヤルを回して“Media Format” を選び、ジョグダイヤルを押す。 • “Format SD”を表示します。 ②ジョグダイヤルを回して“Yes”を選び、ジョグダイヤルを押す。 • SD カードのフォーマットを始めます。 • フォーマット中は“Executing･･･”を表示します。 • フォーマットが終了すると“Completed” を表示し、停止状態に戻ります。 **ご注意** SD カードは必ず本機でフォーマットをおこなってからお使いください。パソコンでフォーマットをした場合、録音時に音切れが生じる場合があります。

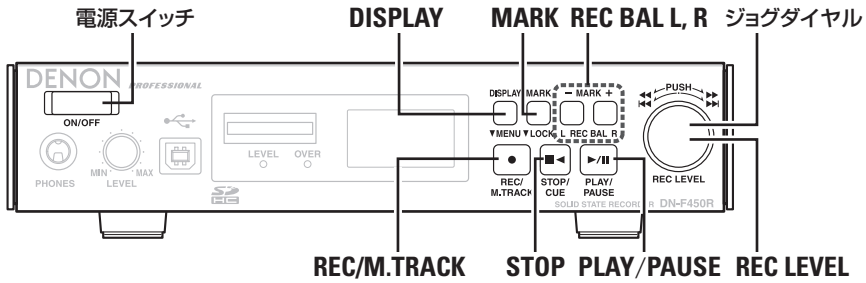
ファームウェアバージョンの確認(F/W Version)

ジョグダイヤルを回して“06 F/W Version”を選んでください。

- 本機の現在のファームウェアのバージョンを表示します。

録音

ここでは録音するファイルを格納するフォルダを指定して録音する方法を説明します。



録音ファイルを格納するフォルダの選びかた

1 **電源スイッチを押す。**
本機の電源がオンになります。

2 **停止中に DISPLAY を 1 秒以上長押しする。**

3 **メニュー一覧の“01 File list”を選び、ジョグダイヤルを押す。**

4 **フォルダリストを表示する。**

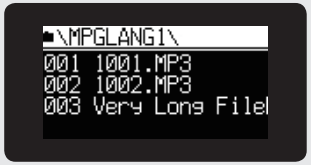
- フォルダリストの表示のしかたは「フォルダメニューの表示のしかた(準備)」(☞23 ページ) をご覧ください。

5 **ジョグダイヤルを回して録音ファイルを格納するフォルダを選び、ジョグダイヤルを押す。**

- 新しく作ったフォルダに録音したファイルを格納するときは、「フォルダの作成 (2 Make Folder)」(☞24 ページ) をご覧ください。

6 **フォルダリストメニューの“01 Select” を選び、ジョグダイヤルを押す。**

- 録音ファイルを格納するフォルダを確定し、そのフォルダのファイルリストを表示します。



7 **STOP を押して元の画面へ戻ります。**

ご注意

SD カードに録音する場合は、あらかじめ本機で SD カードのフォーマットをおこなってください。パソコンでフォーマットをおこなったり、購入時のまま録音をおこなうと、音切れが生じる場合があります。フォーマットの方法は「03 Media Format」(☞14 ページ) をご覧ください。

録音のしかた

1 **REC/M.TRACK を押して録音一時停止状態にする。**
- **REC/M.TRACK** が赤色に点滅します。
- プリセットメニューの“Input” で設定している入力ソースをモニターします。

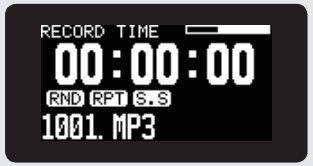
2 **REC LEVEL で録音レベルを調節する。**

- 録音レベルを調節するときは、プリセットメニューの“LevelCont”を“Manual”にしてください。
- レベルメーターやレベルオーバー表示(OVER)を見ながら、ピーク時のレベルが 0dB にならないように調節してください。
- プリセットメニューの“LevelCont” を“ALC” に設定しているときは、録音レベルの調節はできません。

3 **RECBAL L,R を使って録音バランスを調節する。**

- 録音バランスを調節する場合は、プリセットメニューの“LevelCont”を“Manual”にしてください。
- **RECBAL L** を押すと R(右)の音量が 1dB 下がります。**R** を押すと L(左)の音量が下がります。
- 設定は電源をオフにしても保持します。
- 録音前の調整が終わったら、ソースの再生を止め、録音するソースの最初から再生してください。
- プリセットメニューの“LevelCont” を“ALC” に設定しているときは、録音バランスの調節はできません。

4 **REC/M.TRACK を押して録音を始める。**
REC/M.TRACK が赤色の点灯に切り替わります。



- 録音中にも録音レベル、録音バランスの調節がおこなえます。

SD カードの中にフォルダが一つもない場合は MPGLANG1 というフォルダを自動的に作成し、その中に録音したファイルを格納します。そのファイルを他のフォルダに移動する方法は、「ファイルの移動 (06 Move)」(☞23ページ)をご覧ください。

❑録音を停止するには

STOP を押す。
- 録音を停止して、**REC/M.TRACK** が消灯します。
- 録音したファイルの情報を表示します。このときに **PLAY/PAUSE** を押すと、今録音をしたファイルを再生できます。
- もう一度 **STOP** を押すと停止状態になり、総ファイル数や総残り時間を表示します。

❑録音を一時的に停止するには

録音中に **PLAY/PAUSE** を押す。
- 録音が一時停止し、**REC/M.TRACK** が赤色の点滅に切り替わります。
- もう一度 **REC/M.TRACK** を押すと、同じファイルに録音を再開します。

プリセットメニューの“Auto Mark”を“On”に設定しているときに、録音一時停止の状態から録音を再開すると録音を再開したところにマークが付きます。

❑録音の記録容量についてのご注意

録音に必要な記録容量は、設定している録音方式、録音チャンネル数、サンプリング周波数によって異なります。
録音の途中に容量がなくならないように、録音の前に「録音時間チャート」(☞18ページ)で録音可能時間を確認してください。各設定内容の確認のしかたは、「ディスプレイの表示について」(☞5 ページ) をご覧ください。

録音中にできること

録音中にファイルを追加する（マニュアルトラック）

マニュアルトラック機能は、録音中の任意の位置でファイルを区切る機能です。録音は新しいファイルに続けておこないます。

録音中に REC/M.TRACK を押す。
押したところでファイルを区切り、新しいファイルに録音を続けます。

ファイルを一定時間で区切ることもできます。プリセットメニューの「Auto Track」(☞12 ページ) をご覧ください。

ご注意
- ファイルの容量によっては、ファイルの切り替わり目にわずかな音切れが生じる場合があります。
- 録音しているファイルの容量が 4GB に達すると、自動的に新しいファイルに切り替えて録音を続けます。
- 録音開始から 2 秒以内のマニュアルトラックはおこなうことができません。

マークを追加する（マーキング）

ファイルにマーキング情報を書き込むことにより、再生するときにマークを検索して特定の場所から再生を始めることができます。この方法を使うと、ファイルを分けずに、ファイルの中に特定の検索ポイントを作ることができます。
マークを検索して再生する方法は「マークを検索する」(☞20 ページ) をご覧ください。

録音中に MARK を押す。
- 押したところにマークを追加します。

- 一つのファイルには最大 30 個のマークを書き込めます。
- マークは自動的に付けることができます。プリセットメニューの「Auto Mark」(☞12 ページ) をご覧ください。
- 付属ソフト“DMP Mark Editor”でマークの編集をおこなえます。
  詳しくは付属の CD-ROM の取扱説明書をご覧ください。

録音時間チャート

すべての録音時間はおおよその時間です。SD カードのメーカーや製品により多少の誤差があります。

❑録音時間

ステレオファイル

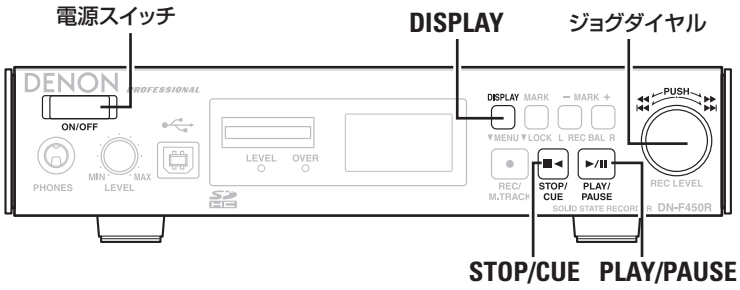
設定	ビットレート	録音可能時間(時：分)					
		1GB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
PCM-16 (48kHz)	1536 kbps	1:29	2:58	5:56	11:51	23:42	47:24
PCM-16 (44.1kHz)	1411 kbps	1:37	3:13	6:27	12:54	25:48	51:36
MP3-320	320 kbps	7:07	14:13	28:27	56:56	113:47	227:33
MP3-256	256 kbps	8:53	17:47	35:33	71:07	142:13	284:27
MP3-192	192 kbps	11:51	23:42	47:24	94:49	189:38	379:16
MP3-128	128 kbps	17:47	35:33	71:07	142:13	284:27	568:53
MP3-64	64 kbps	35:33	71:07	142:13	284:27	568:53	1136:07

モノラルファイル

設定	ビットレート	録音可能時間(時：分)					
		1GB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
PCM-16 (48kHz)	768 kbps	2:58	5:56	11:51	23:42	47:24	94:49
PCM-16 (44.1kHz)	705 kbps	3:13	6:27	12:54	25:48	51:36	103:12
MP3-320	160 kbps	14:13	28:27	56:53	113:47	227:33	455:07
MP3-256	128 kbps	17:47	35:33	71:07	142:13	284:27	568:53
MP3-192	96 kbps	23:42	47:24	94:49	189:38	379:16	758:31
MP3-128	64 kbps	35:33	71:07	142:13	284:27	568:53	1137:47
MP3-64	32 kbps	71:07	142:13	284:27	568:53	1137:47	2275:33

録音条件が同じ場合、モノラルファイルの録音時間は、ステレオファイルの録音時間の 2 倍になります。

再生



再生するフォルダの選びかた

1 **電源スイッチを押す。**
本機の電源がオンになります。

2 **停止中に DISPLAY を 1 秒以上長押しする。**

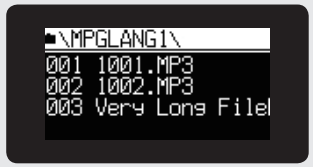
3 **メニュー一覧の“01 File list”を選び、ジョグダイヤルを押す。**

4 **フォルダリストを表示する。**

- フォルダリストの表示のしかたは「フォルダメニューの表示のしかた(準備)」(☞23 ページ) をご覧ください。

5 **ジョグダイヤルを回して再生したいフォルダを選び、ジョグダイヤルを押す。**

6 **フォルダリストメニューの“01 Select” を選び、ジョグダイヤルを押す。**
再生するフォルダを確定し、そのフォルダのファイルリストを表示します。

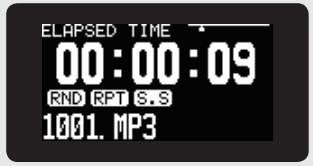


7 **STOP を押して元の画面へ戻ります。**

再生のしかた

ジョグダイヤルを回して再生したいファイルを選び、PLAY/PAUSE またはジョグダイヤルを押す。

- 再生を始めます。
- **PLAY/PAUSE** が緑色に点灯します。



本機は VBR(Variable Bit Rate)形式のファイルを再生することができます。

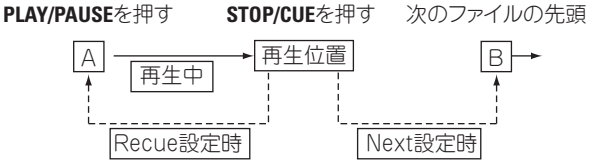
❑再生を停止するには

STOP/CUE を押す。

- 再生を停止して **PLAY/PAUSE** が消灯します。
- プリセットメニュー“Finish Mode”で設定している再生開始位置へ移動して停止します。
- もう一度 **STOP/CUE** を押すと停止状態になり、総ファイル数や総残り時間を表示します。
- “Finish Mode” の設定で下記のように停止位置が変わります。

Next 設定時 : 再生中に **STOP/CUE** を押すと次のファイルの先頭(B 点)に移動して停止をします。

Recue 設定時 : 再生中に **STOP/CUE** を押すと **PLAY/PAUSE** を押した位置(A 点)に戻って停止をします。

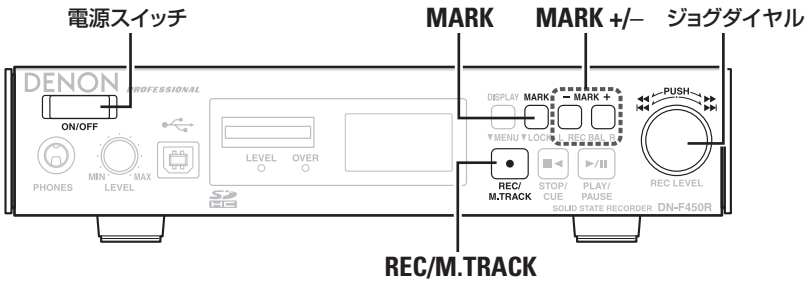


❑再生を一時的に停止するには

再生中に **PLAY/PAUSE** を押す。

- 再生が一時停止し、**PLAY/PAUSE** が緑色の点滅に切り替わります。
- もう一度 **PLAY/PAUSE** を押すと、再生を再開します。

再生中にできること



ファイルを切り替える(I◀◀, ▶▶I)

再生中や停止中にジョグダイヤルを回す。

- 時計方向に回すと次のファイルに切り替わります。
- 反時計方向に回すと現在のファイルの先頭や前のファイルに切り替わります。

早送りや早戻しをする(サーチ ◀◀, ▶▶)

再生中にジョグダイヤルを押しながら時計方向または反時計方向に回す。

- 反時計方向に回すと早戻し再生をします。
- 時計方向に回すと早送り再生をします。
- ジョグダイヤルを回すときのクリック数によって、動作が次のように切り替わります。
  - ジョグダイヤルを押しながら 1 クリック回す　2 倍速
  - ジョグダイヤルを押しながら 2 クリック回す　10 倍速
  - ジョグダイヤルを押しながら 3 クリック回す　50 倍速
  - ジョグダイヤルを押しながら 4 クリック回す　100 倍速

- 50 倍速および 100 倍速のときは音声を出力しません。
- 早送りで最後のファイルの終わりまで、早戻しで最初のファイルの先頭までサーチしたときは、一時停止になります。

ご注意

- ファイルが VBR で記録されている場合、サーチはできません。
- サーチ途中のファイルに VBR のファイルがある場合は、VBR のファイルでサーチを終了します。

マークを追加する(マーキング)

ファイルにマーキング情報を書き込むことにより、マークを検索して特定の場所から再生を始めることができます。

再生中や一時停止中に MARK を押す。
押したところにマークを追加します。

- 一つのファイルには最大 30 個のマークを書き込めます。
- 付属ソフト "DMP Mark Editor" でマークの編集をおこなえます。詳しくは付属の CD-ROM の "DMP Mark Editor" の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機で録音されていない MP3 ファイルにはマークを追加することができません。
- ファイルが VBR で記録されている場合、マークを追加することはできません。

マークを検索する

停止中または再生中に MARK+ または MARK– を押す。

- MARK+ を押すと次のマーク位置に進み一時停止をします。
- MARK- を押すと前のマーク位置に戻り一時停止をします。

ファイルを分割する

録音したファイルを指定した位置で分割することができます。

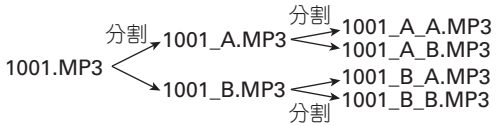
1 ファイルのサーチをおこない、分割したい位置で再生一時停止をして REC/M.TRACK を押す。
ディスプレイに "Divide?" を表示します。

- ファイルを分割しない場合はジョグダイヤルを回して "No" を選び、ジョグダイヤルを押します。

2 ジョグダイヤルを回して "Yes" を選び、ジョグダイヤルを押す。
"Executing…" を表示し、ファイルを分割します。

- ファイル分割が終了すると "Completed" を表示し、分割した二つ目のファイルの先頭で停止します。

- 分割した一つ目のファイル名の末尾に "_A" が付き、分割した二つ目のファイル名の末尾に "_B" が付きます。
  例：1001.MP3 というファイルを分割した場合



  分割しても元のオリジナルファイルは消去されません。上記の場合、計 7 個のファイルができます。
- 再生中に **REC/M.TRACK** を押してもファイルを分割することができます。

ご注意

- ファイル名の文字数が 253 文字以上のファイルの分割はできません。
  その場合はディスプレイに "Long Title" を表示します。ファイルの名前を付け直してから分割してください。
- VBR のファイルは分割できません。

USB モード(本機とパソコンの接続)

本機の PC 用 USB ポートとパソコンを付属の USB ケーブルで接続すると、次のことがおこなえます。
- 本機の SD カードに記録しているデータを、パソコンに転送してパソコン上で再生やコピーなどがおこなえます。
- パソコンに保存している MP3 や WAV ファイルを本機の SD カードに転送できます。

パソコンとの接続

- 本機と接続するパソコンには、次のオペレーティングシステム(OS)を使っているパソコンが必要です。
  WindowsXP、WindowsVista、Windows7、MacOS X
- 本機とパソコンを接続すると、パソコンは本機に装着している SD カードを、リムーバブルディスクとして認識します。

1 パソコンの電源を入れる。
- パソコンの操作についてはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 本機の電源スイッチを押す。
本機の電源がオンになります。

3 本機に SD カードを装着する。
- SD カードの装着については、「SD カードの装着について」(☞9 ページ) をご覧ください。

4 本機の停止中に本機の PC 用 USB ポートとパソコンを付属の USB ケーブルで接続する。
- 接続が完了すると本機のディスプレイに次の表示をします。

- パソコンは本機に装着している SD カードをリムーバブルディスクとして認識します。

5 USB ケーブルを外す。
- 作業が終わったら USB ケーブルを外してください。USB モードが解除され、停止画面に戻ります。

ご注意

本機とパソコンを接続しているときは、本機に装着している SD カードを取り外さないでください。SD カードに記録しているデータが壊れ、SD カードが損傷することがあります。

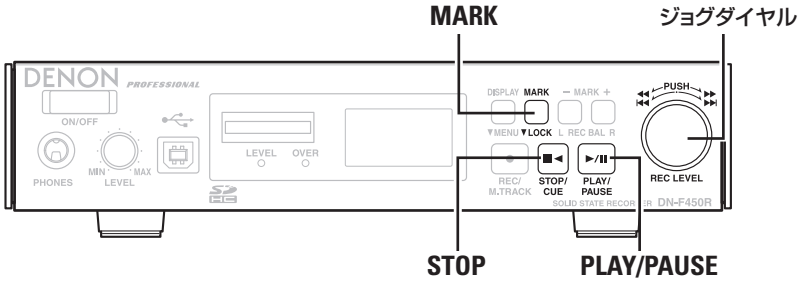
❑DMP Mark Editor について

付属の Windows アプリケーション「DMP Mark Editor」を使用することにより、パソコン上で本機の SD カードに記録しているファイルやマークの編集がおこなえます。

【 主な機能 】
- ファイルの再生、コピー、分割、結合、消去
- マークの移動、追加、削除

- DMP Mark Editor のインストール方法、使い方については付属の CD-ROM に収録している DMP MarK Editor の取扱説明書をご覧ください。

ファイルやフォルダの設定



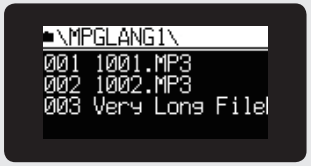
ファイルメニュー

ファイルの管理操作をおこないます。ファイル情報の確認をしたり、ファイル名の変更、ファイルの消去、コピー、移動などができます。

❑ファイルメニューの表示のしかた（準備）

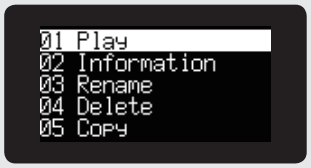
1 **停止中に DISPLAY を 1 秒以上長押しする。**

2 **メニュー一覧の“01 File list”を選び、ジョグダイヤルを押す。**
ファイルリストを表示します。



- ファイルリストの表示中に **PLAY/PAUSE** を押すと選んでいるファイルを再生します。
- フォルダリストを表示するには、一番上に表示しているフォルダ名を選び、ジョグダイヤルを押します。

3 **ジョグダイヤルを回して操作をおこなうファイルを選び、ジョグダイヤルを押す。**
ファイルメニューを表示します。



- ファイルメニューの表示中に **STOP** を押すと、停止状態に戻ります。

❑ファイルメニューの一覧

表示	説明
01 Play	ファイルを再生します。
02 Information	ファイル情報を表示します。
03 Rename	ファイル名を変更します。
04 Delete	ファイルを消去します。
05 Copy	別のフォルダにファイルをコピーします。
06 Move	現在のフォルダから別のフォルダにファイルを移動します。
07 Delete Mark	選んだファイルからすべてのマークを削除します。

ファイルの再生（01 Play）

選んでいるファイルを再生します。

ジョグダイヤルを回して“01 Play”を選び、ジョグダイヤルを押す。

- **STOP** を押すとファイルリストに戻ります。

ファイル情報（02 Information）

選んでいるファイルの情報を表示します。

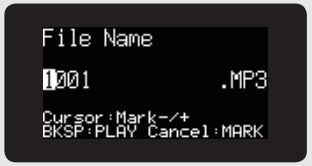
ジョグダイヤルを回して“02 Information”を選び、ジョグダイヤルを押す。
ファイル情報を表示します。

- ファイルメニューに戻るには、ジョグダイヤルを押します。
- **STOP** を押すと停止状態に戻ります。

ファイル名の変更（03 Rename）

選んでいるファイルの名前を変更します。

1 **ジョグダイヤルを回して“03 Rename”を選び、ジョグダイヤルを押す。**
名称変更メニューを表示します。



2 **ファイル名を変更する。**

- ファイル名の変更のしかたは「プリセット名の変更のしかた」（☞13 ページ）と同じです。

3 **ジョグダイヤルを押して変更を保存する。**

- 変更を保存せずに前の画面に戻るには、**MARK** を押します。

- ファイル名の最初または最後の文字にスペースを入力すると、そのスペースを削除してファイル名を保存します。
- 文字数が 255 文字に達すると、文字の追加ができなくなります。

ファイルの消去（04 Delete）

選んでいるファイルを消去します。

ジョグダイヤルを回して“04 Delete”を選び、ジョグダイヤルを押す。
“Delete?”を表示します。

- “Yes”を選んでジョグダイヤルを押すと、ファイルを消去します。
- “No”を選んでジョグダイヤルを押すと、ファイルメニューに戻ります。
- **STOP**を押すと停止状態に戻ります。

ファイルのコピー（05 Copy）

選んでいるファイルを別のフォルダにコピーします。

1 ジョグダイヤルを回して“05 Copy”をび、ジョグダイヤルを押す。
フォルダー一覧を表示します。

2 ジョグダイヤルを回してコピー先のフォルダを選び、ジョグダイヤルを押す。
コピーを開始します。コピー中は、“Executing”を表示します。

- **STOP**を押すと停止状態に戻ります。

ファイルの移動（06 Move）

選んでいるファイルを別のフォルダに移動します。

1 ジョグダイヤルを回して“06 Move”を選び、ジョグダイヤルを押す。
フォルダー一覧を表示します。

2 ジョグダイヤルを回して移動先のフォルダを選び、ジョグダイヤルを押す。
移動を開始します。移動中は、“Executing”を表示します。

- **STOP**を押すと停止状態に戻ります。

マークの削除（07 Delete Mark）

選んでいるファイルに書き込んでいるすべてのマークを削除します。

ジョグダイヤルを回して“07 Delete Mark”を選び、ジョグダイヤルを押す。
“Delete Mark?”を表示します。

- “Yes”を選んでジョグダイヤルを押すと、マークを削除します。
- “No”を選んでジョグダイヤルを押すと、ファイルメニューに戻ります。
- **STOP**を押すと停止状態に戻ります。

フォルダメニュー

フォルダの管理操作をおこないます。選んだフォルダを現在のディレクトリにしたり、フォルダ名の変更、フォルダの消去、新しいフォルダの作成ができます。

❑フォルダメニューの表示のしかた（準備）

1 メニュー一覧の“01 File List”を選ぶ。
ファイルリストを表示します。

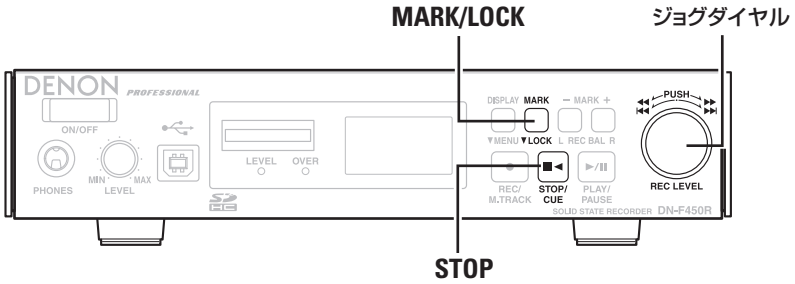
2 ファイルの一番上のフォルダ名を選び、ジョグダイヤルを押す。
フォルダリストを表示します。

3 ジョグダイヤルを回して操作をおこなうフォルダを選び、ジョグダイヤルを押す。
フォルダメニューを表示します。

- フォルダリストの表示中に**STOP**を押すと、停止状態に戻ります。

ご注意

- SD カードのルートフォルダの直下にあるフォルダのみを認識します。ルートディレクトリ直下にあるファイルは認識しません。
- 認識できるフォルダ数は最大 32 個です。それ以降のフォルダは認識しません。



❑フォルダメニューの一覧

表示	説明
1 Select	録音や再生をおこなうフォルダを選びます。
2 Make Folder	新しいフォルダを作ります。
3 Rename	フォルダ名を変更します。
4 Delete	フォルダを消去します。

フォルダの選択（1 Select）

このフォルダの中に録音ファイルを作るときや、このフォルダの中のファイルを再生するときに選びます。

ジョグダイヤルを回して“1 Select”を選び、ジョグダイヤルを押す。
このフォルダのファイルリストを表示します。

フォルダの作成（2 Make Folder）

新しいフォルダをつくります。

ジョグダイヤルを回して“2 Make Folder”を選び、ジョグダイヤルを押す。
フォルダリストに“NewFolder”という名前のフォルダを追加します。

- すでにフォルダリストに“NewFolder”がある場合は“Already Exists”を表示します。フォルダリストにある“NewFolder”の名前を変更してから、新しいフォルダを作ってください。
- フォルダは最大 32 個まで作ることができます。すでに 32 個のフォルダがある場合は、“Full Folder”を表示します。不要なフォルダの消去などをおこなってから、新しいフォルダをつくってください。

フォルダ名の変更（3 Rename）

1 ジョグダイヤルを回して“3 Rename”を選び、ジョグダイヤルを押す。
名称変更メニューを表示します。

2 フォルダ名を変更する。

- フォルダ名の変更のしかたは「プリセット名の変更のしかた」（☞13 ページ）と同じです。

3 ジョグダイヤルを押して変更を保存する。
フォルダリスト表示に戻ります。

- 変更を保存せずに前の画面に戻るには、**MARK** を押します。

- フォルダ名の最後の文字にスペースを入力した場合、変更した名前にはスペースが入りません。
- 文字数が 255 文字に達すると、文字の追加ができなくなります。

フォルダの消去（4 Delete）

フォルダを消去します。

ジョグダイヤルを回して“4 Delete”を選び、ジョグダイヤルを押す。
“Delete?”を表示します。

- “Yes”を選んでジョグダイヤルを押すと、フォルダを消去します。
- “No”を選んでジョグダイヤルを押すと、フォルダメニューに戻ります。
- **STOP** を押すと停止状態に戻ります。

SD カードにフォルダが一つしかない場合、そのフォルダを消去することはできません。そのフォルダの消去の操作をおこなうと、“Can not…”を表示します。

操作ボタンをロックする（キーロック）

MARK/LOCK を 1 秒以上長押しすると、キーロックが設定され、すべてのボタンの操作ができなくなります。

- キーロック中に操作ボタンを押すと、“Key Locked”を表示します。

再び、**MARK/LOCK** を 1 秒以上長押しすると、キーロックモードを解除します。

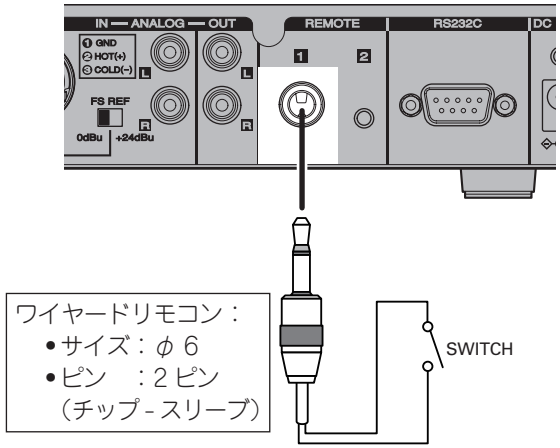
コントロール機能

REMOTE 端子 1

開閉式のワイヤードリモートスイッチや本機をもう一台接続することにより、次のような操作ができます。

ワイヤードリモートスイッチでの操作

フットペダルなど開閉式のワイヤードリモートスイッチをREMOTE（入力）端子 1 に接続すると、プリセットメニューの“Remote1”の設定に応じて次の操作ができます。



❑Start Pause(StartPaus)

録音／再生中、録音／再生一時停止中に、ワイヤードリモートスイッチがショート（閉）状態のときは動作を開始し、オープン（開）状態のときは動作を一時停止します。

❑Start Pause Track(StrtPseTr)

録音中、録音一時停止中に、ワイヤードリモートスイッチがショート（閉）状態のときは動作を開始し、オープン（開）状態のときは動作を一時停止します。
また録音一時停止後に、再度スイッチをショート（閉）状態にすると、新しいファイルに録音を始めます。

❑Mark

録音／再生中、録音／再生一時停止中にワイヤードリモートスイッチがショート（閉）状態になると、マークを追加します。

❑Manual Track(ManualTrk)

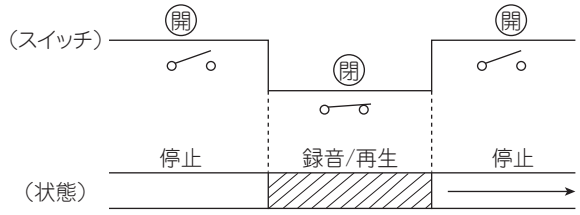
録音中、録音一時停止中に、ワイヤードリモートスイッチがショート（閉）状態になると、ファイルを新しく追加します。

❑Cascade

録音中、録音一時停止中に、ワイヤードリモートスイッチがショート（閉）状態になると、録音を始めます。

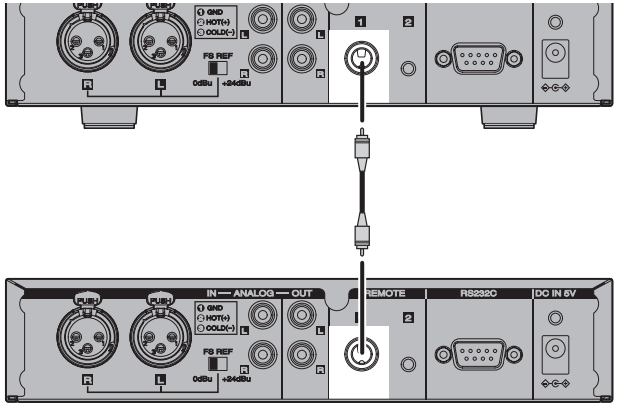
	Start Pause（録音、再生時）	StartPause Trk（録音時のみ）	Mark（録音、再生時）	Manual Track（録音時のみ）	Cascade（録音時のみ）
開 → 閉	開始	開始	マークの追加	新規ファイルの作成	開始
閉 → 開	一時停止	次のファイルで一時停止	---	---	---

例：Start Pause の場合



カスケード接続での録音

カスケード録音は、録音中に一方の SD カードの残量がなくなると、自動的にもう一方が録音を継続する機能です。
REMOTE（入力）端子 1 経由で本機を 2 台接続すると、カスケード録音ができます。



1 **モノラルオーディオケーブルで、それぞれの REMOTE 端子 1 を接続する。**

2 **プリセットメニューの“Remote1”を 2 台とも“Cascade”に設定する。**

•設定のしかたは「Remote1」（☞13 ページ）をご覧ください。

3 **REC/M.TRACK を押して、2 台とも録音一時停止状態にする。**

4 **録音する側の REC/M.TRACK を押す。**
録音が始まります。

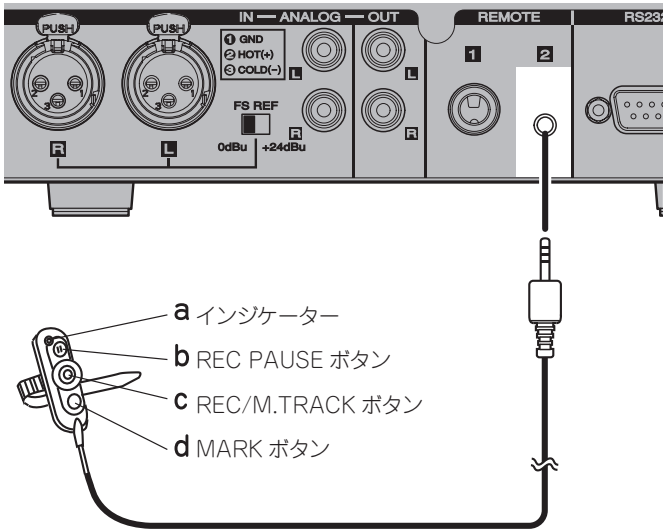
•録音した本機の記録残量がなくなったら、自動的にもう一方の本機が録音を継続します。

ご注意

•録音をしていないほうの本機が録音一時停止状態になっていない場合は、カスケード録音はできません。
•継続させるほうの SD カードの記録残量がない場合は、カスケード録音はできません。

REMOTE 端子 2

本機では別売のマイクリモート RC600PMD を使用できます。RC600PMD（別売り）はマイクに取り付けて使うインタビュー用リモートです。
RC600PMD は、1.5m コードに 4 端子ミニプラグが付いています。RC600PMD を使用するときは、メニューでの設定は必要ありません。



❑RC600PMD

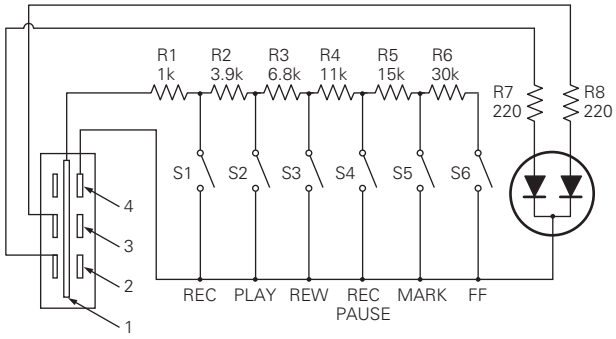
a インジケータ
- スタンバイまたは停止状態のときは、緑色に点灯
- 録音中は赤色に点灯
- 録音一時停止中は赤色に点滅
- 録音または録音一時停止中にピークレベルを超える信号が入力すると、オレンジ色に点滅してから赤の点灯に戻ります。

b このボタンを押すと、録音を一時停止します。
c このボタンを押すと、録音を開始 / 再開します。また手動でファイルを新しく追加します。（マニュアルトラック）
d このボタンを押すと、録音中または再生中にマークを追加します。

❑REMOTE 端子 2 の機能拡張

下図の回路を組んだリモート装置を使用すると、リモートコントロール機能として再生（PLAY）、早送り（FF）、早戻し（REW）などの操作ができます。これにより、ディクテーションやテープ起こしなど、音声から文字、テキストを起こす作業がスムーズにおこなえます。

回路図

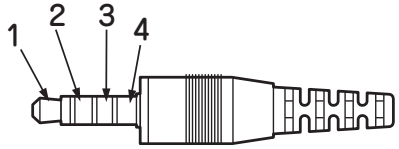


- PLAY スイッチを閉じている間は再生し、開けると同時にスキップバックし、一時停止状態になります。スキップバックする時間は、プリセットメニューの「Skip Back」（☞12 ページ）で設定できます。
  FF スイッチ、REW スイッチも閉じている間はそれぞれ早送り、早戻しをし、開くと停止をします。
- 抵抗誤差：5% 以内
- 外部電圧は加えないでください。誤動作が起きる場合があります。
- 直接回路に接触しないように、回路は絶縁してください。 静電気は誤動作の原因となりますので、回路を静電気から保護する構造にしてください。
- 本機の操作と同時に回路のスイッチを操作しないでください。
- 本回路の使用による、いかなる損害あるいは特許ならびにその他の権利の侵害に対して、弊社は一切の責任を負いません。
- 本内容は、弊社または第三者の特許またはその他の権利を認めるものではありません。
- 本回路図の一部または全体を転載あるいは複製することは、厳重に禁じられています。

❑プラグタイプ（1/8” T-R-R-S ミニプラグ）

ø3.5/4P（TMP-B66）

1: チップ
2: リング
3: リング
4: スリーブ（接地）



RS232C の制御について

RS-232C シリアル端子(D-sub9 ピン)を RS232C ストレートケーブルに接続することによって、ホスト機器による外部からの 3 つの制御をおこなうことができます。

【3 つの制御 】

① 外部からの本機の制御及び操作(☞28 ページ)

② 外部からのステータス要求コマンドに対し、ステータス情報を出力(☞29 ページ)

③ 本機のステータスが変わったとき、自動的にステータス情報を出力(☞29 ページ)

❑接続について

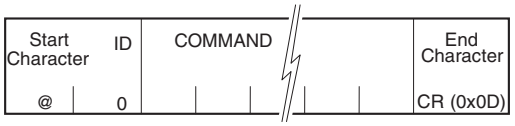
- 適合コネクタ :9 ピン D-sub(オス)
- 通信速度 :38400 Bps
- データビット :8Bit
- パリティ : なし
- ストップビット :1Bit
- フロー制御 : なし

ピン配置

ピン番号	信号名
1	Ground
6	NC
2	TxD
7	NC
3	RxD
8	NC
4	NC
9	NC
5	S. Ground

❑制御コマンドの構成

制御コマンドの各パケットは下記の様に Start Character の "@" ではじまり、End Character の "0x0D" で終わります。



❑コマンドコードの構成

項目	値 (カッコ内は Hex 値)
Start Character	'@' (0x40)
ID	'0' (0 x 30)
Command	コマンド内容を示します。
End Character	'CR' (0 x 0D)

応答のタイムアウトは 100msec です。

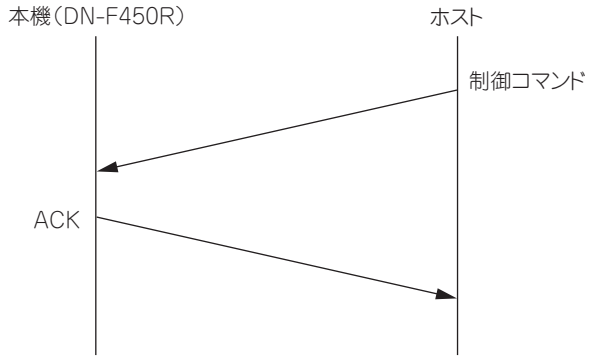
❑ACK(受信成功)と NACK(受信失敗)のコマンドコード

内容	Hex 値	送信条件
ACK	0 x 06	—
NACK	0 x 15	• Start Character' @' がないまま End Character (0x0D)がきた場合 • 存在しないコマンドを受信した場合 • コマンドのキャラクター間が 5msec 以上空いた場合

- コマンドを受信した場合は 100msec 以内に ACK もしくは NACK を返します。
- 100msec 以上待っても応答が無い場合は、次のコマンドを許可します。

① 外部からの本機の制御及び操作

本機が制御コマンドをホストから受信すると、本機はホストに ACK(受信成功)を送信し、コマンドを実行します。

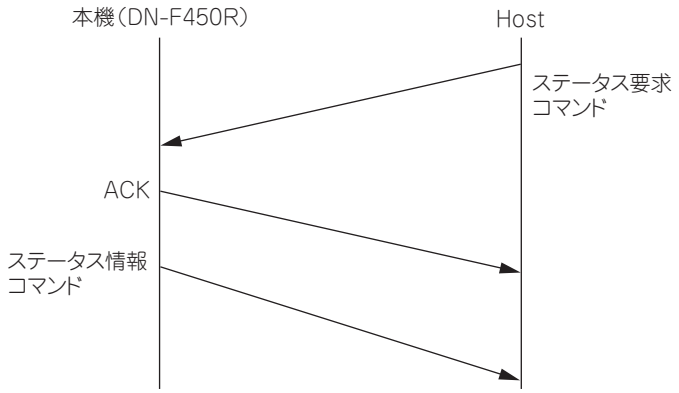


制御コマンド受信成功時のシーケンス図

また、指定のコマンド以外のデータや Start Character' @' がないまま End Character (0x0D) がきた場合などは、受信失敗となり NACK を返します。
制御コマンドのコード一覧については「制御コマンドコードのテーブル」(☞30 ページ) をご覧ください。

② 外部からのステータス要求コマンドに対しステータス情報を出力

ホストからのステータス要求された内容について、本機は ACK とその回答を返します。



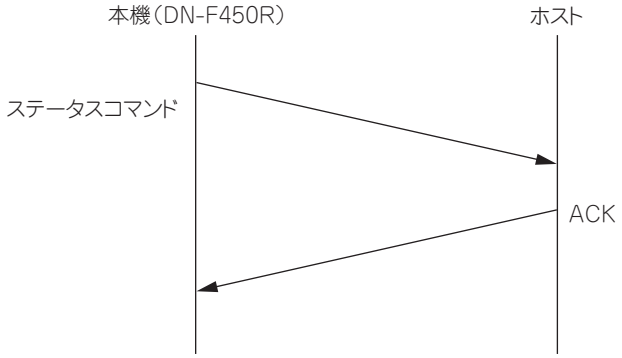
ステータス要求コマンドのシーケンス図

また、指定のコマンド以外のデータや Start Character（‘@’）が来ないまま End Character（0x0D）がきた場合などは受信失敗となり NACK を返します。

このステータス要求コマンドとステータス情報コマンドのコード一覧は「ステータス要求とステータス情報コードのテーブル」（☞35 ページ）をご覧ください。

③ 本機のステータスが変わったとき自動的にステータス情報を出力

本機のステータスもしくは録音、再生のファイルが切り替わったとき、SD カードのステータスが変化した時、状態が変わった時にその内容をホストに送信します。



ステータスコマンドのシーケンス図

このときに送信するコマンドは ② と同じステータス情報コマンドを使用しています。
コマンドコードの一覧に関しては「ステータス要求とステータス情報コードのテーブル」（☞35 ページ）をご覧ください。

❑制御コマンドコードのテーブル

コマンド				コード	備考
キー動作	DISPLAY （表示切り替え）			@ 02311'\r'	表示内容を切り替える
	Rec Volume ＋			@ 023V+'\r'	
	Rec Volume －			@ 023V-'\r'	
	MARK（マークの追加）			@ 023121'\r'	
	録音バランス（R）			@ 023BR'\r'	
	録音バランス（L）			@ 023BL'\r'	
	ファイル切り替え ▶▶I			@ 02332'\r'	
	ファイル切り替え I◀◀			@ 02333'\r'	
	指定ファイルに切り替え	nnn		@ 0TRnnn'\r'	nnn ； ファイル番号（3 桁） 例）ファイル番号 002 へ移動時 ： @ 0TR002'\r'
	PAUSE（一時停止）			@ 02348'\r'	停止時にコマンドを受信したときは録音一時停止へ遷移 再生中は再生一時停止へ、録音中は録音一時停止へ遷移
	サーチ（早戻し）	ON		@ 02352'\r'	
		OFF		@ 0235201'\r'	
	サーチ（早送り）	ON		@ 02350'\r'	
		OFF		@ 0235001'\r'	
	PLAY（再生）			@ 02353'\r'	
	STOP（停止）			@ 02354'\r'	
	REC（録音）			@ 02355'\r'	録音動作のみ（マニュアルトラックは別のコマンド）
	M.Track （マニュアルトラック）			@ 023MT'\r'	録音時、コマンドの入力位置でファイルを分割、ファイル番号を一つ増やす
	MARK ＋ （＋ 方向へマーク検索）			@ 023M+'\r'	前方のマークを選択する
	MARK - （- 方向へマーク検索）			@ 023M-'\r'	後方のマークを選択する
	ファイル分割			@ 023Dd'\r'	
	SKIP BACK （スキップバック）			@ 023SB'\r'	
	キーロック			@ 023KL'\r'	
	キーロック解除			@ 023KU'\r'	

コマンド				コード	備考
ファイルリスト	ファイル削除		xxx	@ 023TExxx'\r'	xxx：削除するファイル番号 ※削除するファイル番号が無ければ無効
	マーク削除		xxx	@ 023MExxx'\r'	xxx：マークを削除するファイル番号 ※マークを削除するファイル番号が無ければ無効
	ファイル移動	nnn	XXXXXXXXXXX	@ 0MVnnnXXXXXXXXXXX'\r'	nnn：移動させるファイル番号 XXXX：移動先のフォルダ名(最大 255 文字) ※移動するファイル番号が存在しない場合は無効 移動先のフォルダが存在しないときは無効 移動先に同じファイル名があった場合は無効
	ファイルのコピー	nnn	XXXXXXXXXXX	@ 0CYnnnXXXXXXXXXXX'\r'	nnn：コピーするファイル番号 XXXX：コピー先のフォルダ名(最大 255 文字) ※コピーするファイル番号が存在しない場合は無効 コピー先のフォルダが存在しないときは無効 コピー先に同じファイル名がある場合は無効
	ファイル移動、 コピーのキャンセル			@ 0CNAL'\r'	ファイルのコピーやファイルの移動中のみに有効
	ファイル名変更	nnn	XXXXXXXXXXX	@ 0RNnnnXXXXXXXXXXX'\r'	nnn：Rename をおこなうファイル番号 XXXX：新しいファイル名(. 拡張子は入れない。Max 255 文字) ※拡張子は変更できません。 存在しないファイル番号の場合は無効 Rename 名がすでに存在する場合は無効
	フォルダの選択	xxxxxxxxx		@ 0SFxxxxxxxxxx'\r'	xxxx ……：選択するフォルダ名
	フォルダの作成	xxxxxxxxx		@ 0MFxxxxxxxxxx'\r'	xxx …… 新しいフォルダ名(Max 255 文字)
	フォルダ名変更	xxxxxxxxx	XXXXXXXXXXX	@ 0RFxxxxxxxxxx:XXXXXXXXXXX'\r'	xxxx …… 変更するフォルダ名(Max 255 文字) ':' セパレータ XXXX …… 新しいフォルダ名(Max 255 文字) ※変更するフォルダ名が存在しないときは無効
	フォルダ削除	xxxxxxxxx		@ 0DRxxxxxxxxxx'\r'	xxxx …… 削除するフォルダ名(Max 255 文字) ※削除するフォルダ名が存在しないときは無効

コマンド				コード	備考
プリセットメニュー	プリセット -1(Preset-1)			@ 0PS01'\r'	Preset-1 を選択
	プリセット -2(Preset-2)			@ 0PS02'\r'	Preset-2 を選択
	プリセット -3(Preset-3)			@ 0PS03'\r'	Preset-3 を選択
	プリセット名変更	n	xxxxxxxx	@ 0PNn:xxxxxxxx'\r'	n：プリセット番号 xxxx ……：設定するプリセット名
	入力(Input)	UNBAL		@ 0INUB'\r'	
		BAL		@ 0INBA'\r'	
	録音形式 (Rec Format)	PCM		@ 0AFPMXX'\r'	XX：ビット長 16Bit = 16
		MP3		@ 0AFM3XXX'\r'	XXX：ビットレート 320kbps = 320、64kbps = 064 etc 設定種類は Menu の選択肢と同じ
	録音チャンネル (Record Channel)	CH(チャンネル)	STEREO	@ 0CHST'\r'	
			MONO	@ 0CHMO'\r'	
	サンプリング周波数 (Sampling Frequency)	Fs (サンプリング周波数)	XX	@ 0FSXX'\r'	XX：Sample Rate 48kHz：xx=48、44.10kHz：xx = 44 設定種類は Menu の選択肢と同じ
	録音レベルコントロール (LevelCont)	Manual		@ 0RLMA'\r'	
		ALC		@ 0RLAL'\r'	
	レベル LED(Level LED)	Level	XX	@ 0LEXX'\r'	XX：Level（マイナスを抜いて 2 桁で表記） -6dB：XX=06、-12dB：XX=12, etc 設定種類は Menu の選択肢と同じ
	オートトラック (Auto Track)	Time	HHMM	@ 0ATHHMM'\r'	HH：時 MM：分 Off = 0000, 1min =0001,5min =0005 30min =0030,1hour =0100 設定種類は Menu の選択肢と同じ 選択肢以外の値は無効
	オートマーク (Auto Mark)	ON		@ 0AM00'\r'	
		OFF		@ 0AM01'\r'	

※プリセットメニューなどのコマンドの機能説明に関しては「メニュー一覧」（☞10 ページ）をご確認ください。

コマンド				コード	備考
プリセットメニュー	サイレントスキップ (Silent Skip)	ON		@ 0SS00'\r'	
		OFF		@ 0SS01'\r'	
	サイレントレベル (Silent Level)	Level	XX	@ 0SLXX'\r'	XX：Silent Skip Level -20dB xx = 20、-25dB xx = 25 etc 設定種類は Menu の選択肢と同じ
	スキップバック(時間) (Skip Back)	xxx		@ 0SBxxx'\r'	xxx：Skip Back の設定時間 0.5sec：xxx=005, 60sec：xxx=600 設定種類は Menu の選択肢と同じ
	再生モード (Play Mode)	Cont		@ 0PMOF'\r'	
		Single		@ 0PMSP'\r'	
		Random		@ 0PMRD'\r'	
	停止モード (Finish Mode)	Next		@ 0FMNT'\r'	
		Recue		@ 0FMRC'\r'	
	リピート(Repeat)	ON		@ 0RE00'\r'	
		OFF		@ 0RE01'\r'	
	パワーオンプレイ (Power On Play)	ON		@ 0POPL'\r'	
		OFF		@ 0POST'\r'	
	オートキュー (Auto Cue)	OFF		@0AC01'\r'	
		xx (dB)		@0ACxx'\r'	xx : Off = 01, -48dB = 48, -42dB = 42, -36dB = 36
	リモート 1(Remote1)	StartPause		@ 0RCSP'\r'	
		StartPauseTrack		@ 0RCST'\r'	
		Mark		@ 0RCMA'\r'	
		M.Track		@ 0RCMT'\r'	
		Cascade		@ 0RCCS'\r'	
	マシーン ID(Machine ID)	xxxxxxxxxxxx		@ 0MIxxxxxxxxxxxx'\r'	xxx　　：MachineID(0～8 文字)
	プリセットの初期化 (Default)			@ 0DEFL'\r'	選択しているプリセットをすべて初期化する

コマンド				コード	備考
ディスプレイ表示の設定	コントラスト(Contrast)	XX		@ 0BNXX'\r'	XX:01～10
	現在時刻表示 (Time Form)	12H		@ 0TF12'\r'	
		24H		@ 0TF24'\r'	
	日付の表示順 (Date Form)	MDY		@ 0DFMD'\r'	
		DMY		@ 0DFDM'\r'	
	ファイルの並び順 (File Sort)	Alphabet		@ 0FRAL'\r'	
		Date/Time		@ 0FRDA'\r'	
	言語(Language)	English		@ 0LNUS'\r'	
		Japanese		@ 0LNJP'\r'	
	Display メニューの初期化 (Default)			@ 0DEDI'\r'	
ユーティリティー設定	設定読込み (Load Settings)			@ 0PVLD'\r'	
	設定保存 (Save Settings)			@ 0PVSA'\r'	
	メディアの初期化 (Media Format)			@ 023FOMAT'\r'	

❑ステータス要求とステータス情報コードのテーブル

本機がステータス要求コマンドをホストから受信すると、本機はステータス情報をホストに送信します。
本機のステータスに変化があると、本機は自動的にステータス情報をホストに送信します。

ステータス要求コマンド（本機→ホスト）			ステータス情報コマンド（本機→ホスト）			備考
要求内容		コード	応答内容		コマンドコード	
ステータス関係	SD カード	@ 0?CD '\r'	SD カード	No Card	@ 0CDNC'\r'	
				Card In	@ 0CDCI'\r'	
				Unformat	@ 0CDUF'\r'	
				Write Protect	@ 0CDWP'\r'	
	ステータス	@ 0?ST'\r'	停止	STOP（停止）	@ 0STST'\r'	
				STOP（現在のファイル先頭で停止）	@ 0STTS'\r'	
			再生系	PLAY（再生中）	@ 0STPL'\r'	
				PLAYPAUSE（再生一時停止）	@ 0STPP'\r'	
				AutoCue 中	@ 0STAC'\r'	Auto Cue 検索中
				サーチ（早送り）	@ 0STFF'\r'	
				サーチ（早戻し）	@ 0STRW'\r'	
			録音系	REC（録音中）	@ 0STRE'\r'	
				RECPAUSE（録音一時停止中）	@ 0STRP'\r'	
			その他	Loading	@ 0STLD'\r'	
				File List	@ 0STFL'\r'	
				Busy	@ 0STBY'\r'	ファイルのコピー中 等
				Menu（Preset、Display、Utility etc.）	@ 0STED'\r'	
				Error	@ 0STER'\r'	
設定関係	録音ボリューム設定	@ 0?RV'\r'	録音ボリュームレベル	LLRR	@ 0RVLLRR'\r'	LL：左 Vol 値 0dB：LL=00、Mute：LL=MU RR: 右 Vol 値 -60dB：RR=60、Mute：RR=MU

ステータス要求コマンド（本機→ホスト）			ステータス情報コマンド（本機→ホスト）			備考
要求内容		コード	応答内容		コマンドコード	
ファイルリスト関係	経過時間	@ 0?ET'\r'	経過時間	hhhmmss	@ 0EThhhmmss'\r'	hhh：時 mm：分 ss：秒 ※停止時、ファイルを選択していない場合や SD カードが装着されていない場合の表示は、 hhhmmss = 0000000
	総残り時間	@ 0?RM'\r'	総残り時間	hhhmmss	@ 0RMhhhmmss'\r'	hhh：時 mm：分 ss：秒 ※停止時、ファイルを選択していない場合や SD カードが装着されていない場合の表示は、 hhhmmss = 0000000
	録音残り時間	@ 0?RT'\r'	録音残り時間	hhhmmss	@ 0RThhhmmss'\r'	hhh：時 mm：分 ss：秒 ※ SD カードが装着されていない場合の表示は、 hhhmmss = 0000000
	総ファイル数	@ 0?TT'\r'	総ファイル数	XXX	@ 0TTXXX'\r'	XXX：総ファイル数（000～999）
	ファイル番号	@ 0?TR'\r'	ファイル番号	XXX	@ 0TRXXX'\r'	XXX：現在のファイル番号（000～999）
	ファイルネーム （xxx：ファイルナンバー）	@ 0?Tnxxx'\r'	ファイルネーム	XXXXXX	@ 0TnXXXXXX'\r'	XXXX ……：ファイルネーム（Max 255 文字、コードは ISO/IEC 8859-1） ※存在しないファイルや SD カードが装着されていない場合の表示は、@ 0Tn'\r' ファイルネームはフルパスで表記する 例）\Folder1\File1.mp3 → @ 0Tn\Folder1\File1.mp3'\r'
	ファイルサイズ （xxx：ファイルナンバー）	@ 0?Tsxxx'\r'	ファイルサイズ	XXXXXX	@ 0TsXXXXXX'\r'	XXX　……：ファイルサイズ（kByte） 10KB → @0SZ10\r'（10 進） ※選択中のファイルがない場合や SD カードが装着されていない場合などの表示は、XXXX =000 1KB=1024Byte

ステータス要求コマンド（本機→ホスト）			ステータス情報コマンド（本機→ホスト）			備考
要求内容		コード	応答内容		コマンドコード	
ファイルリスト関係	録音時間 （xxx：ファイルナンバー）	@ 0?rtxxx'\r'	録音時間	YYYYMMDDhhmmss	@ 0rtYYYYMMDDhhmmss'\r'	YYYY: 年（西暦の下 2 桁） MM: 月（1 月 - ＞ 01） DD: 日（1 日 - ＞ 01） hh：時（24h 表示 0～23） mm：分 ss：秒 ※選択中のファイルがない場合や SD カードが装着されていない場合の表示は YYMMDDhhmmss=000000000000
	再生ファイル情報	@ 0?ch'\r'	CH（チャンネル）	STEREO	@ 0chST'\r'	
				MONO	@ 0chMO'\r'	
		@ 0?af'\r'	Algo（録音形式）	PCM	@ 0afPMXX'\r'	XX：ビット長 16Bit =16
				MP3	@ 0afM3XXX'\r'	XXX：ビットレート 320kbps=320、64kbps=064 etc 設定種類は Menu の選択肢と同じ
		@ 0? f s'\r'	Fs （サンプリング周波数）	XX	@ 0fsXX'\r'	XX は 48kHz=48、44.10kHz=44 etc
	フォルダリスト	@ 0?FL'\r'	フォルダ名	AAAAA BBBBB CCCCC	@ 0FLAAAAA:BBBBB:CCCCC'\r'	AAA…、BBB…、CCC… はフォルダ名 各フォルダ名は Max 255 文字
	選択中のフォルダ	@ 0?SF'\r'	フォルダ名	0xxxxxxxx	@ 0SF0xxxxxxxx'\r'	xxxxxxxx：選択中のフォルダ名 フォルダ名は Max 255 文字
プリセットメニュー	プリセット	@ 0?PS'\r'	プリセット	Preset-1	@ 0PS01'\r'	
				Preset-2	@ 0PS02'\r'	
				Preset-3	@ 0PS03'\r'	
	プリセット名	@ 0?PNx'\r'	プリセット名	xxxxxxxx	@ 0PNnxxxxxxx'\r'	n：Preset No. xxxx ……：設定する Preset 名
	入力（Input）	@ 0?IN'\r'	Input	UNBAL	@ 0INUB'\r'	
				BAL	@ 0INBA'\r'	
	録音形式 （Rec Format）	@ 0?AF'\r'	Algo（録音形式）	PCM	@ 0AFPMXX'\r'	XX：ビット長 16Bit=16
				MP3	@ 0AFM3XXX'\r'	XXX は 320kbps=320、64kbps=064 etc 設定種類は Menu の選択肢と同じ

※プリセットメニューなどのコマンドの機能説明に関しては「メニュー一覧」（☞10 ページ）をご確認ください。

ステータス要求コマンド（本機→ホスト）			ステータス情報コマンド（本機→ホスト）			備考
要求内容		コード	応答内容		コマンドコード	
プリセットメニュー	録音チャンネル（Rec Channel）	@ 0?CH'\r'	CH（チャンネル）	STEREO	@ 0CHST'\r'	
				MONO	@ 0CHMO'\r'	
	サンプリング周波数（Sampling Frequency）	@ 0?FS'\r'	Fs（サンプリング周波数）	XX	@ 0FSXX'\r'	XX は 48kHz=48、44.10kHz=44、etc 設定種類は Menu の選択肢と同じ
	録音レベルコントロール（LevelCont）	@ 0?RL'\r'	Rec level	Manual	@ 0RLMA'\r'	
				ALC	@ 0RLAL'\r'	
	レベルLED（Level LED）	@ 0?LE'\r'	Level	XX	@ 0LEXX'\r'	
	オートトラック（Auto Track）	@ 0?AT'\r'	A.Track Time（オートトラックの設定時間）	HHMM	@ 0ATHHMM'\r'	HH：時 MM：分 Off=0000, 1min =0001,5min =0005 30min =0030,1hour =0100 設定種類は Menu の選択肢と同じ
	オートマーク（Auto Mark）	@ 0?AM'\r'	AutoMark	ON	@ 0AM00'\r'	
				OFF	@ 0AM01'\r'	
	サイレントスキップ（Silent Skip）	@ 0?SS'\r'	Silent Skip	ON	@ 0SS00'\r'	
				OFF	@ 0SS01'\r'	
	サイレントレベル（Silent Level）	@ 0?SL'\r'	Level	XX	@ 0SLXX'\r'	XX:Silent Level Off = 01, -48dB = 48, -42dB = 42, -36dB = 36
	スキップバック（時間）（Skip Back）	@ 0?SB'\r'	Skip Back	XXX(time)	@ 0SBXXX'\r'	xxx：Skip Back の設定時間 0.5sec：xxx=005, 60sec：xxx=600 設定種類はプリセットメニューと同様
	再生モード（Play Mode）	@ 0?PM'\r'	Play mode	Cont	@ 0PMOF'\r'	
				Single	@ 0PMSP'\r'	
				RANDOM	@ 0PMRD'\r'	
	停止モード（Finish Mode）	@ 0?FM'\r'	Finish Mode	Next	@ 0FMNT'\r'	
				Recue	@ 0FMRC'\r'	
	リピート（Repeat）	@ 0?RE'\r'	Repeat Mode	ON	@ 0RE00'\r'	
				OFF	@ 0RE01'\r'	
	パワーオンプレイ（Power On Play）	@ 0?PO'\r'	PowerOn Play	ON	@ 0POPL'\r'	
				OFF	@ 0POST'\r'	
	オートキュー（Auto Cue）	@ 0?AC'\r'	Auto Cue	OFF	@ 0AC01'\r'	
				XX(dB)	@ 0ACxx'\r'	xx : Auto Cue Level 例）-48dB: xx=48

ステータス要求コマンド（本機→ホスト）			ステータス情報コマンド（本機→ホスト）			備考
要求内容		コード	応答内容		コマンドコード	
プリセットメニュー	リモート 1（Remote1）	@ 0?RC'\r'	Remote1	Mark	@ 0RCMA'\r'	
				M.Track	@ 0RCMT'\r'	
				StartPause	@ 0RCSP'\r'	
				StartPauseTrack	@ 0RCST'\r'	
				Cascade	@ 0RCCS'\r'	
	マシーン ID（Machine ID）	@ 0?MI'\r'	Machine ID	xxxxxx	@ 0MIxxxxxx'\r'	xxx ……：MachineID（0～8 文字）
ディスプレイ表示の設定	コントラスト（Contrast）	@ 0?BN'\r'	Contrast	XX	@ 0BNXX'\r'	XX: 01～10（コントラスト） 01～10 以外は無効
	現在時刻表示（Time Form）	@ 0?TF'\r'	Time Form	12H	@ 0TF12'\r'	
				24H	@ 0TF24'\r'	
	日付の表示順（Date Form）	@ 0?DF'\r'	DateForm	MDY	@ 0DFMD'\r'	
				DMY	@ 0DFDM'\r'	
	ファイルの並び順（File Sort）	@ 0?FR'\r'	File Older	Alphabet	@ 0FRAL'\r'	
				Date/Time	@ 0FRDA'\r'	
	言語（Language）	@ 0?LN'\r'	Language	English	@ 0LNUS'\r'	
				Japanese	@ 0LNJP'\r'	
その他	バージョン（Version）	@ 0?VN'\r'	Version	xxxxxxxx	@ 0VNxxxxxxxxmmmmmmmmm'\r'	xxxxxxxx：Version No（8 桁） mmmmmm：モデル名 （DN-F450R の場合：DNF450R）

情報

エラーメッセージ

エラー処理の詳細

エラー表示	原　因 / 対　策	関連ページ
No Media	• SDカードが検出できていません。SDカードを入れ直してください。	9
Unformat	• ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されています。SD カードを本機でフォーマットするか、フォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。詳しくは、SD カードの取扱説明書をご覧ください。	14
Full Media	• SD カードの残容量がありません。新しい SD カードと交換、もしくは不要なファイルを消去してください	5,23
Full 999	• ファイル数が最大(999 ファイル)になっていますので、録音ファイルを格納するフォルダを変更するか、もしくは不要なファイルを消去してください	23,24
Full MARK	• マーク数が最大(30 個)になっていますので、新たにマークを追加できません。追加する場合は一度マークを削除してください。	23
Full Folder	• フォルダ数が最大(32 個)まで作成されていますので、新しいフォルダは作成できません。フォルダを作成するには他のフォルダを削除してください。	24
No Files	• 対象ファイルが存在しません。ファイルの確認をしてください	22
No MARK	• 対象マークが存在しません。マーク検索をおこなう場合は、マークを追加してください	17
ALC	• プリセットメニュー “07 LevelCont” で “ALC” が設定されているときに表示されます。この場合、録音レベル、録音バランスの調整はできません。調整をおこなうときは設定を “Manual” にしてください。	16
VBR	• VBR ファイルサーチしたときに表示されます。VBR ファイルではサーチができません。また、ファイルの残り時間も表示されません。	20
Already Exists	• 他に同じファイル名がすでに存在しています。ファイル名を変更してから確定を押してください。	22
Long Title	• ファイル名の文字数が 253 文字以上のファイルの分割はできません。ファイルの名前を付け直してから分割してください。	20
Key Locked	• キーロック中です。操作をおこなう場合はロックを解除してください。	25
Card Locked	• SD カードのプロテクトスイッチがロックされています。録音をする場合はロックを外してください。	8
Can not...	• 無効な操作を行った場合に表示されます。プリセットメニューなど他の設定項目によって操作が無効となることがありますので操作内容を確認してください。	24

エラー表示	原　因 / 対　策	関連ページ
Err Format	• SD カードを本機でフォーマットするか、フォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。詳しくは、SD カードの取扱説明書をご覧ください。	14
Err Media X	• 本機に対応していません。SD カードを交換してください	–
Update File Error	• バージョンアップ用ファイルまたはファイルステムが異常があります。弊社ホームページ(URL:http://www.dm-pro.jp) に記載しているお近くの修理相談窓口へお問い合わせください	41
Err FlashROM	• Flash ROM にエラーが発生しています。弊社ホームページ(URL:http://www.dm-pro.jp) に記載しているお近くの修理相談窓口へお問い合わせください	41
Need Update	• アップデート時に Flash ROM からの読み込みが失敗しています。弊社ホームページ(URL:http://www.dm-pro.jp) に記載しているお近くの修理相談窓口へお問い合わせください	41

故障かな？と思ったら

❑ 各接続は正しいですか

❑ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

❑ 外部機器（ミキサーやプレーヤー）は正しく動作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

【 共通 】

症　状	原　因 / 対　策	関連ページ
電源が入らない	• AC アダプターの接続状態を確認してください。	8

【 録音 】

症　状	原　因 / 対　策	関連ページ
録音ができない	• SD カードの問題が考えられます。別の SD カードに交換をしてみてください。	16
録音はされているのに、再生すると音が出ない。	• 録音レベル（REC LEVEL）が MUTE になっていないか確認をしてください。 • 録音設定（入力ソース）と外部機器との接続が正しいかを確認してください。 （例えば、入力ソースが Unbalance に選択されていて、ANALOG IN の RCA 端子に外部機器が接続されていないと、本機は無音状態で録音されてしまいます。）	16 7
ファイルの切り替わり目に音切れがする	• 録音したファイルの容量によっては、ファイルの切り替わり目にわずかな音切れが生じる場合があります。	12、17
SD カードへの録音時に音切れがする	• パソコンで SD カードをフォーマットした場合、録音時に音切れが生じる場合があります。本機で使用するときは必ず本機でフォーマットをおこなってください。	14
録音ファイルのノイズが大きい	• レベルメーターやオーバーレベル表示を見て、録音レベルが 0dB を超えていないか確認してください。 • ケーブル接続が接触不良となっていないか確認してください。	7、16

【 再生 】

症　状	原　因 / 対　策	関連ページ
再生ができない、ファイルを認識しない	• SD カードの問題が考えられます。別の SD カードにファイルを移し変えてみてください。 • 再生ファイルの形式が本機に対応しているか確認をしてください。 • 対象フォルダが SD カードのルートディレクトリの真下にあるかを確認してください。真下以外の場所にあるフォルダは認識しません。 • フォルダ数が 32 個を超えていないか確認をしてください。本機では 32 番目以降のフォルダは認識出来ません。	23 – 23 23
ヘッドホンから再生音が出ない。	• LEVEL（音量調整）つまみの設定位置が MIN になっていないかを確認してください。 • 別のオーディオファイルまたは SD カードで確認してください。	8 –
パソコンで再生すると音が悪い。	• パソコンのサウンドカードの品質とプログラムを確認してください。 • 周波数変換プログラムを確認してください。 ※本機ではサンプリング周波数 48kHz でオーディオファイルを録音できます。パソコンのプログラムによってはオーディオファイルを 44.1kHz に変換するものがあります（サンプルレートコンバータを使用）。高品質なサンプルレートコンバータを使用してください。	– –
パソコンでファイルを読み取れない。	• パソコンのプログラムの機能を確認してください。再生および編集プログラムによっては本機の録音形式に対応していないものもあります。 本機の動作が不安定なときは、電源を切り、電源コードの接続を外し、再起動をしてください。	–

【 操作 】

症　状	原　因 / 対　策	関連ページ
Rename 時に文字を追加できない	• 文字数が最大となっているときは文字を追加できません。追加する場合はあらかじめ文字を削除してください。	13
フォルダの削除ができない	• SD カード内のフォルダが一つしかないときはそのフォルダを削除することは出来ません。	24

主な仕様

❑ デジタルオーディオシステム

• システム	ソリッドステート
• 利用可能メディア	SD/SDHC カード
• 録音形式	
MP3	MPEG1 Layer Ⅲ 圧縮
WAV	16 ビットリニア PCM
• 録音 MP3 ビットレート（選択可能）	
モノラル	160、128、96、64、32 kbps
ステレオ	320、256、192、128、64 kbps
• 再生可能 MP3 ビットレート	
モノラル	160、128、96、64、32 kbps
ステレオ	320、256、192、128、64 kbps および VBR
• サンプリング周波数	48、44.1 kHz
• チャンネル数	2（ステレオ）、1（モノラル）
• オーディオ周波数特性	20～20000 Hz ± 1.0 dB
• S/N 比、IEC-A フィルター	96 dB（0 dBFS 1 kHz 再生時）
• 全高調波歪率（0 VU（PCM）時）	0.02 %（AES-17 20 kHz フィルター）
• ダイナミックレンジ	96 dB

❑ 入力

• バランス入力	
タイプ	XLR（1:GND、2:Hot、3:Cold）
入力感度（録音レベル 0 dB（最大）時）	+24 dBu、0 dBu（0 dBFS基準）
入力インピーダンス	20 kΩ
• アンバランス入力	
タイプ	RCA 端子
入力感度	500 mVrms
入力インピーダンス	22 kΩ

❑ 出力

• アンバランス出力	
タイプ	RCA 端子
標準レベル	2 Vrms/10 kΩ 負荷時
• HEADPHONE OUT	20 mW/32 Ω

❑ その他

• 最大 SD カード容量	32 GB
• 最大ファイルサイズ	4 GB
• 最大ファイル数	999 ファイル /1 フォルダあたり
• 最大フォルダ数	32 フォルダ
• 最大レイヤー（階層数）	1（ルートディレクトリ直下）
• 最大マーク数	30 個 /1 ファイルあたり
• ファイル名の最大文字数	255 文字
• フォルダ名の最大文字数	255 文字
• プリセット名の最大文字数	8 文字
• マシン ID の最大文字数	8 文字

❑ 一般

• 電源	DC 5 V
• 消費電力	5 W 0.3 W（スタンバイ時）
• 環境条件	
動作温度	5～35 ℃
動作湿度	25～85 %、結露なし
保存温度	-20～60 ℃

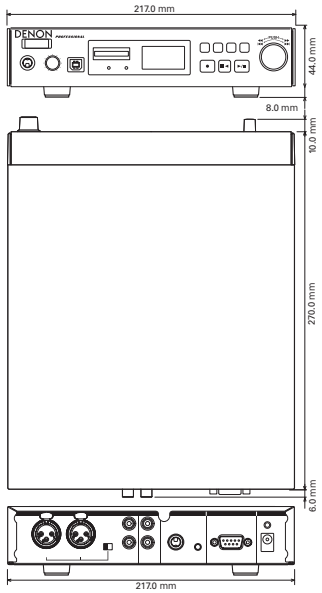
❑ 寸法（外形寸法は突起部を含む）

幅	217 mm
高さ	52 mm
奥行	286 mm
重量	1.8 kg

❑ 付属アクセサリー

• 取扱説明書（本書）	1
• AC アダプター	1
• AC アダプターコードホルダー	1
• AC アダプターコードホルダー取り付け用ネジ	1
• 19 インチラックマウントブラケット	2
• 19 インチラックマウントブラケット取り付け用ネジ	4
• オーディオケーブル	1
• USB ケーブル	1
• CD-ROM	1
• 保証書（梱包箱に貼り付けられています）	1

【外観寸法図　単位：mm】



※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

保証と修理について

❑保証書

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から１年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
有料修理の料金については弊社ホームページ（URL:http://www.dm-pro.jp）に記載しているお近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

❑修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 弊社ホームページ（URL:http://www.dm-pro.jp）に記載しているお近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

❑依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書または製品背面（または底面や側面）に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

❑補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後８年です。

❑お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

索引

☞ 英数

RS232C コントロール……28
SD カード……9
USB ポート……7
USB モード……21

☞ あ

インジケータ……27

☞ か

カスケード録音……13, 26
キーロック……25
キュー動作……12
ケーブル
　USB ケーブル……7
　ステレオ音声ケーブル……7
　バランスケーブル……7

☞ さ

サーチ……20
再生……19
サイレントスキップモード……12
サンプリング周波数……11
スキップバック……12
接続
　AC アダプター……8
　RS-232C 端子……8
　アナログ接続……7
　パソコンとの接続……7
　リモート端子……8

☞ た

著作権……III
ディスプレイ……5
電源入 / 切……11

☞ な

入力ソース……11

☞ は

ピークホールド……6
ビットレート……18
ファームウェアバージョン……15
ファイルの切り替え……20
ファイルの分割……20
ファイルメニュー……22
ファイルリスト……22
フォーマット……14
フォルダメニュー……23
フォルダリスト……23
付属品……2
プリセットメニュー……10
フロントパネル……3
ヘッドホン……8

☞ ま

マーク……17
マークの検索……20
マシン ID……13
マニュアルトラック……17
メニュー一覧……10

☞ ら

ラックマウント……2
ランダム再生……12
リアパネル……4
リピート再生……12
レベルメーター……6
録音時間チャート……18

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

DN-F650R/DN-F450R

DENON PROFESSIONAL

正誤表

DN-F650R 36 ページ／ DN-F450R 30 ページ

❑制御コマンドコードのテーブル

(誤)

コマンド				コード	備考
キー動作	サーチ(早戻し)	ON		@ 02352'\r'	
		OFF		@ 0235201'\r'	
	サーチ(早送り)	ON		@ 02350'\r'	
		OFF		@ 0235001'\r'	

(正)

コマンド				コード	備考
キー動作	サーチ(早戻し)	ON		@ 02350'\r'	
		OFF		@ 0235001'\r'	
	サーチ(早送り)	ON		@ 02352'\r'	
		OFF		@ 0235201'\r'	

Printed in Japan 5411 10723 008P